



MFX-C3690/C3090/C2590

ユーザーズガイド

PC-FAX機能編

もくじ

1	PC-FAX 送信機能について	
1.1	PC-FAX 送信機能の概要	1-2
1.2	必要なシステム環境	1-3
1.3	本機のケーブル接続箇所	1-4
2	PC-FAX 送信の準備 (ネットワーク接続)	
2.1	概要	2-2
2.2	ファクスドライバーをインストールする前に (管理者向け)	2-3
	LAN ケーブルの接続を確認する	2-3
	ネットワーク設定を確認する	2-3
	PC-FAX 送信の使用環境を設定する	2-4
	ファクスドライバーからの装置情報の取得を許可する	2-4
2.3	ファクスドライバーの簡単インストール	2-5
	ファクスドライバーの CD-ROM を準備する	2-5
	ファクスドライバーの対応 OS を確認する	2-6
	インストール手順	2-6
2.4	ファクスドライバーの初期設定をする	2-8
	本機のオプション環境を設定する	2-8
	印刷設定の初期値を変更する	2-9
3	PC-FAX 送信の準備 (USB 接続)	
3.1	概要	3-2
3.2	ファクスドライバーの簡単インストール	3-3
	ファクスドライバーの CD-ROM を準備する	3-3
	ファクスドライバーの対応 OS を確認する	3-3
	インストール設定を変更する (Windows 7/8/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/ Server 2012 R2)	3-4
	インストール手順	3-5
3.3	ファクスドライバーの初期設定をする	3-7
	本機のオプション環境を設定する	3-7
	印刷設定の初期値を変更する	3-8
4	PC-FAX 送信のしかた	
4.1	送信の流れ	4-2
4.2	[FAX 送信ポップアップ] 画面について	4-4
4.2.1	[FAX 送信ポップアップ] 画面の表示のしかた	4-4
4.2.2	[FAX 送信ポップアップ] 画面でできること	4-5
4.2.3	送信先を電話帳から選ぶ	4-6
4.2.4	送信先を本機の短縮宛先から選ぶ	4-7
4.2.5	送信先を LDAP サーバーから検索する	4-8
4.2.6	ファクスの送信機能を設定する	4-9
4.2.7	送付状をつける	4-9
4.3	よく使う設定を簡単に呼出す	4-10
4.4	送信先情報をコンピューターで管理する (電話帳)	4-11
	送信先を登録する	4-11
	送信先を検索する	4-13
	送信先情報を編集する	4-13
	送信先のグループを変更する	4-14
	グループ名を変更する	4-14
	フォルダーで管理する	4-14



5 こんな送信のしかたがあります

5.1	送付状をつけて送信する	5-2
5.2	時刻を指定して送信する (タイマー送信).....	5-5
	タイマー送信について	5-5
	送信のしかた	5-5
5.3	親展のファクスを送信する (親展通信).....	5-6
	親展通信について	5-6
	送信のしかた	5-6
5.4	中継機を指定して送信する (中継配信).....	5-7
	中継配信について	5-7
	送信のしかた	5-7
5.5	認証情報をつけて送信する	5-8
	認証設定時の送信について	5-8
	お使いになるために必要な作業	5-8
	送信のしかた	5-9

6 ファクスドライバーの設定項目

6.1	ファクスドライバーの [プロパティ] 画面について	6-2
	[プロパティ] 画面の表示のしかた	6-2
	Windows が提供するタブについて	6-4
6.2	[装置情報] タブでできること	6-5
6.3	[初期設定] タブでできること	6-6
6.4	ファクスドライバーに LDAP サーバーを登録する.....	6-8
6.5	ファクスドライバーの [印刷設定] 画面について	6-10
	[印刷設定] 画面の表示のしかた	6-10
	各タブで共通の項目	6-13
6.6	[FAX] タブでできること	6-14
6.7	[基本設定] タブでできること	6-15
6.8	[レイアウト] タブでできること	6-16
6.9	[スタンプ / ページ印字] タブでできること	6-17
6.10	[画像品質] タブでできること	6-17
6.11	[その他] タブでできること	6-17

7 ファクスドライバーを削除する

削除プログラムで削除する	7-2
インストーラーを使って削除する	7-3



PC-FAX 送信機能について

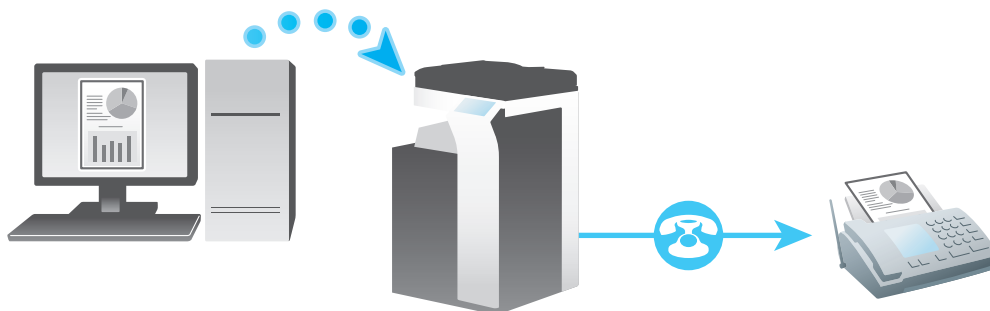
1 PC-FAX 送信機能について

1.1 PC-FAX 送信機能の概要

一般的なファクスは、紙の原稿を送受信します。これに対し、PC-FAX 送信は、Windows コンピューター上の原稿データを、本機で印刷するような感覚でファクス送信します。

ファクスを送信するために紙の原稿を用意する必要がないので、電子化された原稿が多い環境での使用に向いています。

送信先は、本機に登録されている宛先を活用できます。また、コンピューターに電話帳を作成して、送信先を管理することもできます。



参考

- PC-FAX 送信するには、本機にオプションの FAX キットが必要です。

1.2 必要なシステム環境

PC-FAX 送信をお使いいただくためには、あらかじめコンピューターにファクスドライバーのインストールが必要です。

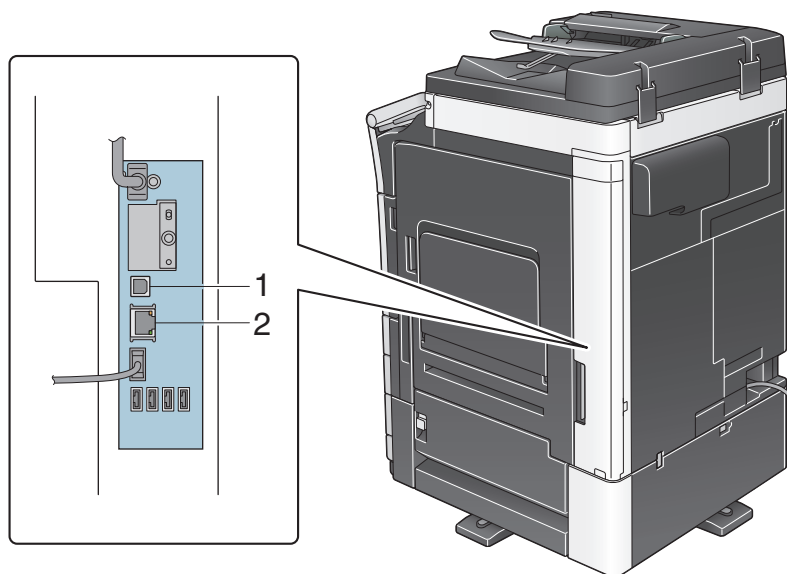
ファクスドライバーをインストールするときにインストーラーをお使いいただくと、ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機を自動的に検出して、ファクスドライバーを簡単にインストールできます。

項目	仕様
OS	Windows Vista Business * Windows Vista Enterprise * Windows Vista Home Basic * Windows Vista Home Premium * Windows Vista Ultimate * Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium * Windows 7 Professional * Windows 7 Enterprise * Windows 7 Ultimate * Windows 8 */Windows 8.1 * Windows 8 Pro */Windows 8.1 Pro * Windows 8 Enterprise */Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Home Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションに対して、メモリーの空き容量が十分であること。
ドライブ	CD-ROM ドライブ

最新対応 OS は弊社ホームページよりご確認ください。
(<http://www.muratec.jp/ce/support/driver/models.html>)

1.3 本機のケーブル接続箇所

プリンターケーブルは、本機の前部に接続します。



No.	ポート	説明
1	USB ポート	USB 接続でお使いになるときに USB ケーブルを接続します。USB ケーブルは A タイプ (4 ピンオス)-B タイプ (4 ピンオス) のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。
2	Ethernet ポート (1000Base-T/100Base-TX/10Base-T)	ネットワーク接続でお使いになるときに LAN ケーブルを接続します。1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。プロトコルは、TCP/IP (LPD/LPR、IPP、SMB)、Web サービスなどに対応しています。



2

PC-FAX 送信の準備（ネット
ワーク接続）

2 PC-FAX 送信の準備（ネットワーク接続）

2.1 概要

PC-FAX 送信機能をお使いいただくためには、コンピューターにファクスドライバーのインストールが必要です。

ここでは、本機に付属のインストーラーを使って、PC-FAX 送信できるようになるまでの準備を説明します。



2.2 ファクスドライバーをインストールする前に (管理者向け)

本機をネットワークに接続する

- LAN ケーブルの接続を確認する
- ネットワークの設定を確認する
 - 本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。



PC-FAX の使用環境を設定する

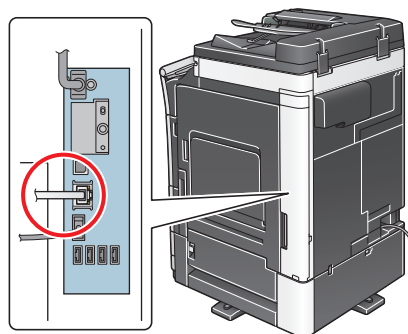
- 標準印刷 (Port 9100) を利用する場合
 - RAW ポート番号が指定されていることを確認します (通常は、初期設定の状態でお使いいただけます)。特に指定がない場合は、標準印刷 (Port 9100) を利用してください。
- インターネット印刷 (IPP) を利用する場合
 - IPP の使用環境を確認します (通常は、初期設定の状態でお使いいただけます)。
- セキュリティ印刷 (IPPS) を利用する場合
 - IPPS の使用環境を設定します。本機とコンピューターとの通信を SSL で暗号化します。



準備完了

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。



ネットワーク設定を確認する

本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。[設定メニュー] - [装置情報表示] をタップし、IP アドレスが表示されていることを確認します。



IP アドレスが表示されていない場合は、ネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [お使いになるために必要な作業]」をごらんください。

PC-FAX 送信の使用環境を設定する

印刷方法に応じて使用環境を設定します。

印刷方法を指定せずにインストールを進めると、標準印刷 (Port9100) で印刷できる状態になります。特に指定がない場合は、標準印刷 (Port 9100) を利用してください。

印刷方法	説明
標準印刷 (Port 9100)	RAW ポート番号が指定されていることを確認します（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。 設定のしかたについては、 Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [プリント機能の使用環境を設定する]」をごらんください。
インターネット印刷 (IPP)	IPP の使用環境を確認します（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。 設定のしかたについては、 Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [プリント機能の使用環境を設定する]」をごらんください。
セキュリティ印刷 (IPPS)	IPPS の使用環境を設定します。本機とコンピューターとの通信を SSL で暗号化します。 設定のしかたについては、 Web Connection を使って説明します。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [プリント機能の使用環境を設定する]」をごらんください。



参考

- インストーラーを使ってセキュリティ印刷 (IPPS) をセットアップすることはできません。
- IPv6 環境では、インターネット印刷 (IPP) は対応していません。

ファクスドライバーからの装置情報の取得を許可する

OpenAPI の認証機能を無効にします（通常は、初期設定の状態でお使いいただけます）。

ファクスドライバーからの装置情報の取得を許可すると、本機のオプション装着状態や認証設定の有無などを、ファクスドライバーが自動で取得します。

設定のしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。



関連設定（管理者向け）

- ファクスドライバーからの装置情報の取得をパスワードで制限できます（初期値：[しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

2.3 ファクスドライバーの簡単インストール

ファクスドライバーを準備する

- ファクスドライバーの CD-ROM を準備する
 - CD-ROM については、本機の管理者に確認してください。
- ファクスドライバーの対応 OS を確認する
 - インストールするコンピューターがファクスドライバーの動作条件に適合しているか確認してください。



コンピューターにファクスドライバーをインストールする

- インストーラーを使って、ファクスドライバーをインストールする
 - Driver & Utilities CD-ROM Vol.1 をセットし、画面の指示に従ってインストールします。
- テスト印刷をする
 - 必要に応じて、テスト印刷を行い、正常に印刷できることを確認します。



準備完了

ファクスドライバーの CD-ROM を準備する

本機に付属の CD-ROM には、次の種類があります。ファクスドライバーは、Driver & Utilities CD-ROM Vol.1 に収録されています。

CD-ROM の種類	説明
Driver & Utilities CD-ROM Vol.1	Windows 用プリンタードライバー (PCL/PS/FAX)、スクリーンフォントが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
Driver & Utilities CD-ROM Vol.2	Windows 用プリンタードライバー (XPS)、Mac OS 用プリンタードライバー、スクリーンフォント、TWAIN ドライバーが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
User's Guide CD-ROM	ユーザーズガイドが収録されています。

参考

- ユーザーズガイドでは、フォルダー名やファイル名をルートから記述していない場合があります。
- ファクスドライバーを手動でインストールする場合は、ファイルはすべて JA(Japanese) フォルダー内のドライバーファイルを指定してください。

ファクスドライバーの対応 OS を確認する

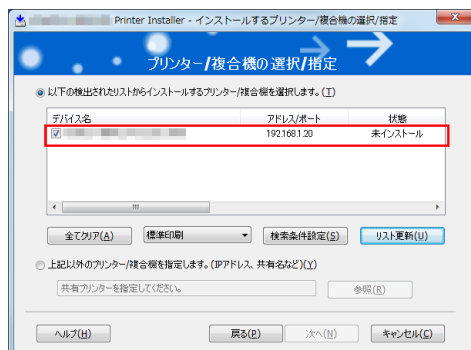
ファクスドライバーに対応しているコンピューターの OS について詳しくは、1-3 ページをごらんください。

インストール手順

インストーラーを使って、ファクスドライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は Driver & Utilities CD-ROM Vol.1 を使います。

- 1 ファクスドライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32 ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 2 [プリンターのインストール] をクリックします。
- 3 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 4 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
 - [IPv4 優先] / [IPv6 優先] では、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方でプリンターが検出されたとき、どちらのアドレスを優先するかを指定できます。
 接続されているプリンターが検出されます。
- 5 本機を選び、[次へ] をクリックします。
 - 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。
 - 印刷方法は、管理者から特に指定がない場合は、[標準印刷] (Port 9100) から変更する必要はありません。
 - 印刷方法は、[標準印刷] のほか、[インターネット印刷] (IPP) や [セキュリティ印刷] (IPPS) を選べます。
 - 接続されているプリンターのうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。
本機の IP アドレスは、[設定メニュー] - [装置情報表示] をタップして表示される画面で確認できます。
 - 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、[上記以外のプリンター / 複合機を指定します。 (IP アドレス、共有名など)] を選び、手動で本機の IP アドレスやホスト名を指定してください。



- 6 ファクスドライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
- 7 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。

- 8 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。
以上で、ファクスドライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。詳しくは、2-8 ページをごらんください。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。詳しくは、2-9 ページをごらんください。
[テストページ印刷]	正常に送信できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。

**参照**

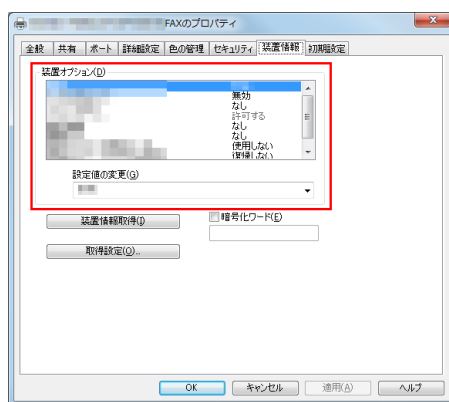
ファクスドライバーのインストールが完了したら、ファクスドライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、2-8 ページをごらんください。

2.4 ファクスドライバーの初期設定をする

本機のオプション環境を設定する

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などが正しくファクスドライバーに反映されているか確認します。

- 1 ファクスドライバーの [プロパティ] 画面を表示します。
→ [プロパティ] 画面の表示のしかたについては、6-2 ページをごらんください。
- 2 [装置情報] タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを確認します。
→ 初期設定では、[取得設定 ...] の [自動取得] が有効になっていますので、自動的に本機の情報取得され、[装置オプション] に反映されます。
→ [取得設定 ...] の [自動取得] を無効にしている場合は、[装置情報取得] をクリックすると、本機の情報取得して [装置オプション] に反映します。
→ 本機と通信できない場合は、[装置オプション] から手動で設定します。変更する項目を一覧から選び、[設定値の変更] から設定値を選びます。



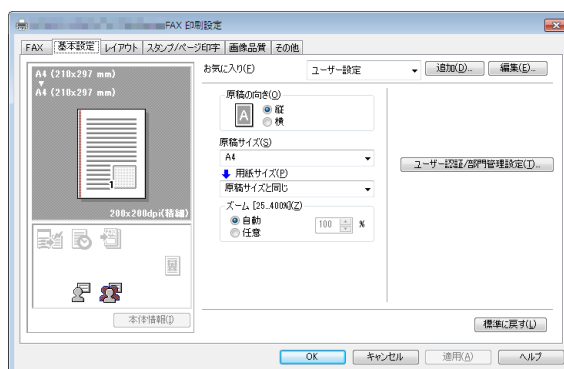
- 3 [OK] をクリックします。

印刷設定の初期値を変更する

必要に応じて、ファクスドライバーの印刷設定の初期値を変更できます。

たとえば、初期値をページ割付で送信するように設定しておけば、送信先での用紙の使用量を減らせます。お使いの環境に合わせて初期値を変更しておくことをおすすめします。

- 1 ファクスドライバーの [印刷設定] 画面を表示します。
→ [印刷設定] 画面の表示のしかたについては、6-10 ページをごらんください。
- 2 印刷設定を変更し、[OK] をクリックします。
変更した設定が、すべてのアプリケーションソフトウェアで PC-FAX 送信するときに適用されます。



参照

ファクスドライバーには、設定した内容をお気に入りとして保存する機能があります。詳しくは、4-10 ページをごらんください。



PC-FAX 送信の準備 (USB 接続)

3 PC-FAX 送信の準備 (USB 接続)

3.1 概要

PC-FAX 送信機能をお使いいただくためには、コンピューターにファクスドライバーのインストールが必要です。

ここでは、本機に付属のインストーラーを使って、PC-FAX 送信できるようになるまでの準備を説明します。



3.2 ファクスドライバーの簡単インストール

ファクスドライバーを準備する

- ファクスドライバーの CD-ROM を準備する
 - CD-ROM については、本機の管理者に確認してください。
- ファクスドライバーの対応 OS を確認する
 - インストールするコンピューターがプリンタードライバーの動作条件に適合しているか確認してください。



コンピューターにファクスドライバーをインストールする

- コンピューターのインストール設定をする
 - Windows 7/8/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、あらかじめコンピューターの設定の変更が必要です。
- インストーラーを使って、ファクスドライバーをインストールする
 - USB ケーブルを接続してから、Driver & Utilities CD-ROM Vol.1 をセットし、画面の指示に従ってインストールします。
- テスト印刷をする
 - 必要に応じて、テスト印刷を行い、正常に印刷できることを確認します。



準備完了

ファクスドライバーの CD-ROM を準備する

本機に付属の CD-ROM には、次の種類があります。ファクスドライバーは、Driver & Utilities CD-ROM Vol.1 に収録されています。

CD-ROM の種類	説明
Driver & Utilities CD-ROM Vol.1	Windows 用プリンタードライバー (PCL/PS/FAX)、スクリーンフォントが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
Driver & Utilities CD-ROM Vol.2	Windows 用プリンタードライバー (XPS)、Mac OS 用プリンタードライバー、スクリーンフォント、TWAIN ドライバーが収録されています。また、ユーティリティソフトウェアのダウンロードページが収録されています。
User's Guide CD-ROM	ユーザーズガイドが収録されています。



参考


- ユーザーズガイドでは、フォルダー名やファイル名をルートから記述していない場合があります。
- ファクスドライバーを手動でインストールする場合は、ファイルはすべて JA(Japanese) フォルダー内のドライバーファイルを指定してください。

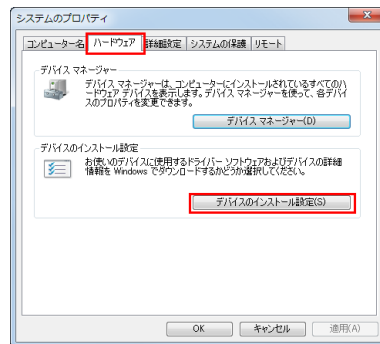
ファクスドライバーの対応 OS を確認する

ファクスドライバーに対応しているコンピューターの OS について詳しくは、1-3 ページをごらんください。

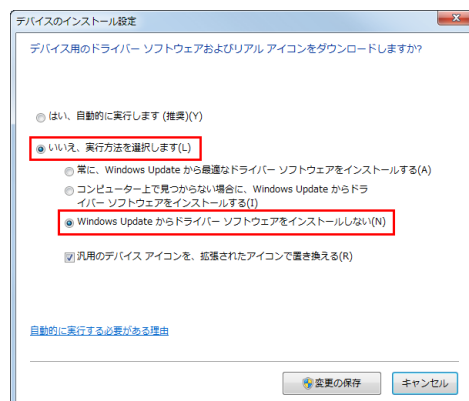
インストール設定を変更する (Windows 7/8/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2)

Windows 7/8/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、ファクスドライバーをインストールする前に、コンピュータの設定を変更します。

- 1 [コントロール パネル] ウィンドウを開きます。
 - Windows 8/8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[Windows] () キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロールパネル] をクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] をクリックします。
- 2 [システムとセキュリティ] - [システム] をクリックします。
- 3 左側のメニューにある [システムの詳細設定] をクリックします。
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- 4 [ハードウェア] タブの [デバイスのインストール設定] をクリックします。



- 5 [いいえ、実行方法を選択します] を選んでから [Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない] を選び、[変更の保存] をクリックします。
 - ファクスドライバーのインストール後は、[はい、自動的に実行します (推奨)] に戻してください。



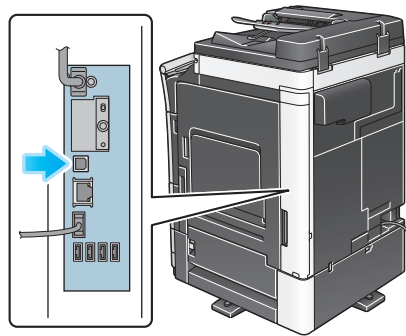
- 6 [OK] をクリックし、[システムのプロパティ] 画面を閉じます。

インストール手順

インストーラーを使って、ファクスドライバーをインストールします。

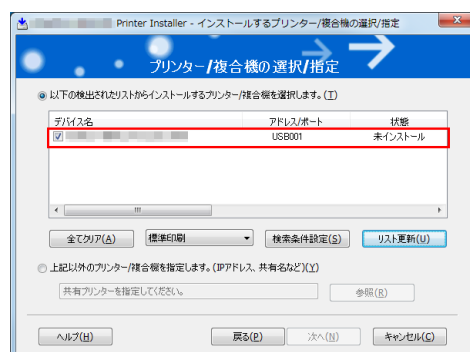
- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は Driver & Utilities CD-ROM Vol.1 を使います。

- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。



→ 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

- 2 ファクスドライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 3 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32 ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 4 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 3 [プリンターのインストール] をクリックします。
- 4 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 5 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
USB 接続されているプリンターが検出されます。
- 6 本機を選び、[次へ] をクリックします。



- 7 ファクスドライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
- 8 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。

- 9 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。
以上で、ファクスドライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。詳しくは、3-7 ページをごらんください。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。詳しくは、3-8 ページをごらんください。
[テストページ印刷]	正常に送信できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。

**参照**

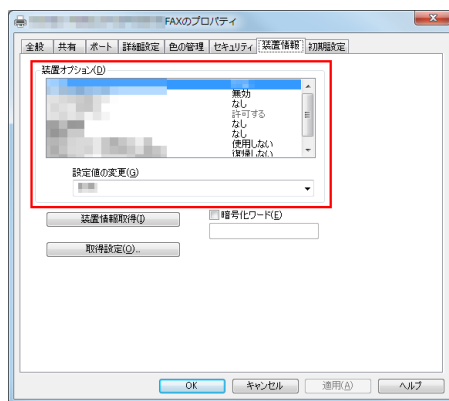
ファクスドライバーのインストールが完了したら、ファクスドライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、3-7 ページをごらんください。

3.3 ファクスドライバーの初期設定をする

本機のオプション環境を設定する

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを、ファクスドライバーに設定します。

- 1 ファクスドライバーの [プロパティ] 画面を表示します。
→ [プロパティ] 画面の表示のしかたについては、6-2 ページをごらんください。
- 2 [装置情報] タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無を確認します。
→ 初期設定では、[取得設定 ...] の [自動取得] が有効になっていますので、自動的に本機の情報が取得され、[装置オプション] に反映されます。
[取得設定 ...] の [自動取得] を無効にしている場合は、[装置情報取得] をクリックすると、本機の情報を取得して [装置オプション] に反映します。



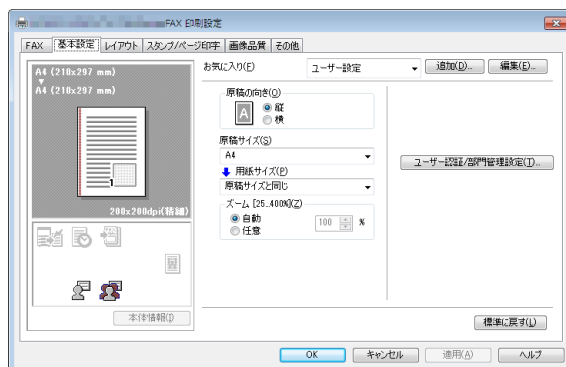
- 3 [OK] をクリックします。

印刷設定の初期値を変更する

必要に応じて、ファクスドライバーの印刷設定の初期値を変更できます。

たとえば、初期値をページ割付で送信するように設定しておけば、送信先での用紙の使用量を減らせます。お使いの環境に合わせて初期値を変更しておくことをおすすめします。

- 1 ファクスドライバーの [印刷設定] 画面を表示します。
→ [印刷設定] 画面の表示のしかたについては、6-10 ページをごらんください。
- 2 印刷設定を変更し、[OK] をクリックします。
変更した設定が、すべてのアプリケーションソフトウェアから PC-FAX 送信するときに適用されます。



参照

ファクスドライバーには、設定した内容をお気に入りとして保存する機能があります。詳しくは、4-10 ページをごらんください。

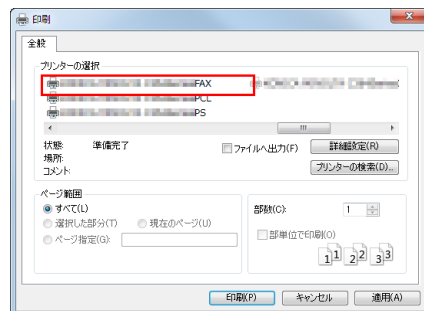
4

PC-FAX 送信のしかた

4 PC-FAX 送信のしかた

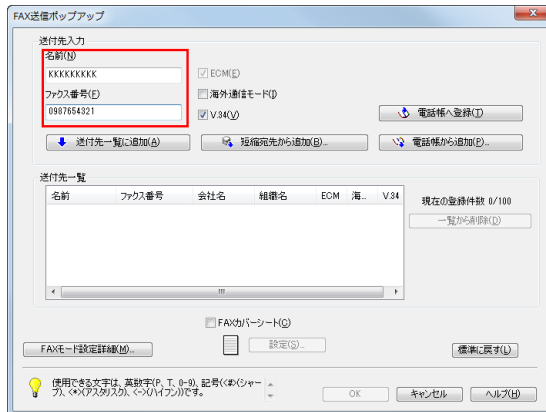
4.1 送信の流れ

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンター名] (または [プリンターの選択]) で、本機のファクスドライバーが選ばれていることを確認します。
→ [印刷] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

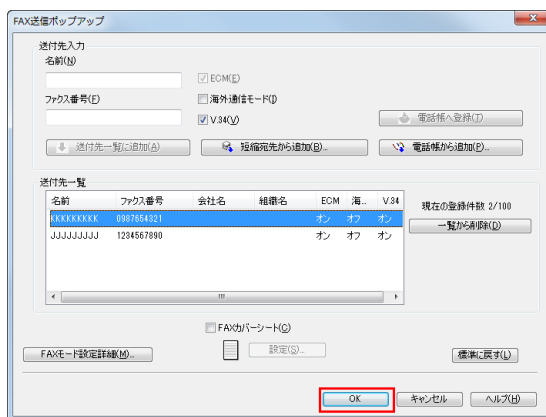


- 3 送信するページ範囲を指定します。
- 4 必要に応じて、[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、ファクスドライバーの印刷設定を変更します。
→ 印刷設定について詳しくは、6-2 ページをごらんください。
→ ここで変更した印刷設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると変更前の状態 (初期値) に戻ります。印刷設定の初期値を変更する方法については、2-9 ページをごらんください。
→ ファクスドライバーには、よく使う印刷設定を簡単に呼出す機能が用意されています。詳しくは、4-10 ページをごらんください。
- 5 [印刷] をクリックします。
[FAX 送信ポップアップ] 画面が表示されます。

- 6 送信先の名前とファクス番号を指定します。
- 送信先を、本機に登録されている宛先から選ぶときは、[短縮宛先から追加...] をクリックします。詳しくは、4-7 ページをごらんください。
 - 送信先を、コンピューター上の電話帳から選ぶときは、[電話帳から追加...] をクリックします。詳しくは、4-6 ページをごらんください。
 - 必要に応じて、ファクス送信機能の設定や、送付状の追加をします。詳しくは、4-9 ページをごらんください。



- 7 [送付先一覧に追加] をクリックします。
- 送信先が複数の場合は、手順 6、7 を繰り返します。100 件まで登録できます。
 - 追加した送信先を削除したいときは、取消す送信先を選んでから、[一覧から削除] をクリックします。
- 8 [OK] をクリックします。



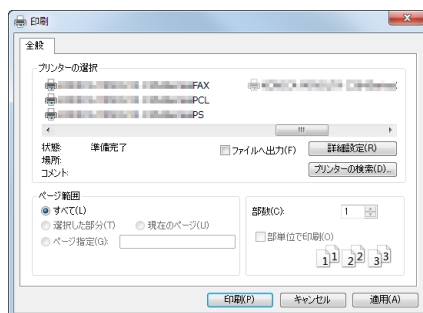
原稿データが本機を經由してファクス送信されます。

4.2 [FAX 送信ポップアップ] 画面について

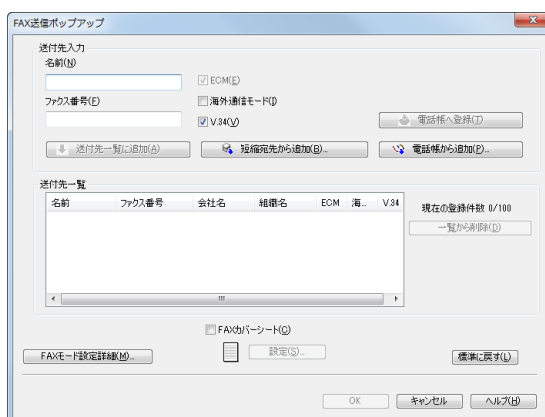
4.2.1 [FAX 送信ポップアップ] 画面の表示のしかた

[FAX 送信ポップアップ] 画面では、送信先を選んだり、送信条件を変更したりできます。[FAX 送信ポップアップ] 画面は、次の手順で表示します。

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンター名] (または [プリンターの選択]) で、本機のファクスドライバーが選ばれていることを確認します。
→ [印刷] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。



- 3 [印刷] をクリックします。
[FAX 送信ポップアップ] 画面が表示されます。



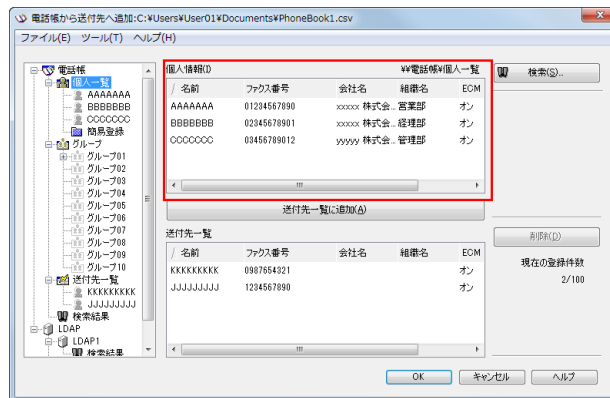
4.2.2 [FAX 送信ポップアップ] 画面でできること

設定	説明
[名前]	送信先の名前を入力します(80 文字以内)。
[ファクス番号]	送信先のファクス番号を入力します(半角数字 38 桁以内、記号はハイフン(-)、#、*、P、T)。 海外に送信する場合は、国番号を入力してからファクス番号を入力してください。
[ECM]	ECM(Error Correction Mode) を解除する場合はチェックをはずします。 ECM は、ITU-T(国際電気通信連合)で定められた誤り再送方式です。ECM に対応したファクス機の間では、送ったファクスのデータに誤りが無いことを確認しながら通信が行われるため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。 本機は、初期設定では ECM を使った通信が行われます。雑音が多い場合は ECM を使わない場合と比べ、通信時間が若干長くなる場合があります。 通信時間を短縮したい場合は、ECM を解除して送信します。ただし、画像の乱れや通信エラーの原因となる場合がありますので、状況に応じて設定を変更してください。
[海外通信モード]	[海外通信モード] を設定する場合はチェックをつけます。 海外通信モードは、伝送速度(情報を送る速さ)をゆっくりとしたスピードに設定して送信する機能です。通信状態の悪い地域にファクスを送る場合などに有効です。
[V.34]	[V.34] モードを解除する場合はチェックをはずします。 V.34 は、スーパー G3 のファクス通信に使われる通信方式です。A4 原稿 1 ページが約 3 秒の高速で送られるため、通信時間を短縮して、通信コストを削減できます。 本機は、初期設定では V.34 を使った通信を行います。送信先または本機が PBX 回線に接続されている場合など、回線の状況によってスーパー G3 モードで通信できない場合は、V.34 を解除して送信することをおすすめします。
[送付先一覧に追加]	[送付先入力] に入力した送信先を [送付先一覧] に追加します。
[短縮宛先から追加 ...]	送信先を、本機に登録されている宛先から選ぶ場合にクリックします。詳しくは、4-7 ページをごらんください。
[電話帳から追加 ...]	送信先を、コンピューター上の電話帳から選ぶ場合にクリックします。詳しくは、4-6 ページをごらんください。
[電話帳へ登録]	[名前] と [ファクス番号] に入力した内容を電話帳に登録する場合にクリックします。電話帳の [簡易登録] フォルダに登録されます。登録のしかたについて詳しくは、4-11 ページをごらんください。
[FAX モード設定詳細 ...]	タイマー送信や F コード送信など、ファクスの送信機能を設定する場合にクリックします。詳しくは、4-9 ページをごらんください。
[FAX カバーシート]	送信するファクスに送付状を付加する場合にチェックをつけます。[設定] をクリックすると、送付状の内容を設定できます。詳しくは、5-2 ページをごらんください。

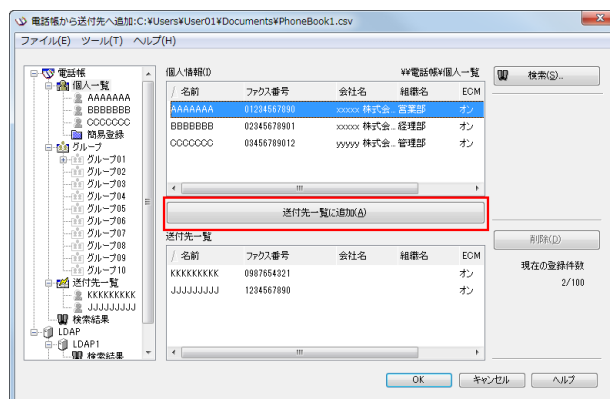
4.2.3 送信先を電話帳から選ぶ

PC-FAX の送信先を、コンピューターで管理している電話帳から選べます。

- ✓ 送信先を電話帳から選ぶ場合は、あらかじめ登録が必要です。登録のしかたについて詳しくは、4-11 ページをごらんください。
- 1 [FAX 送信ポップアップ] 画面で [電話帳から追加 ...] をクリックします。
 - 2 左側のリストから [個人一覧] や [グループ] を選び、目的の送信先を [個人情報] 一覧に表示させます。
 - [検索 ...] をクリックすると条件を設定して検索できます。検索結果が、[個人情報] 一覧に表示されます。詳しくは、4-13 ページをごらんください。



- 3 [個人情報] 一覧から送信したい名前を選び、[送付先一覧に追加] をクリックします。
 - 送信先は 100 件まで登録できます。
 - 追加した送信先を削除したいときは、取消す送信先を選んでから、[削除] をクリックします。
 - 送信先をグループに登録してある場合は、グループ名を選び、[送付先一覧に追加] をクリックすると、[送付先一覧] にすべてのメンバーが追加されます。



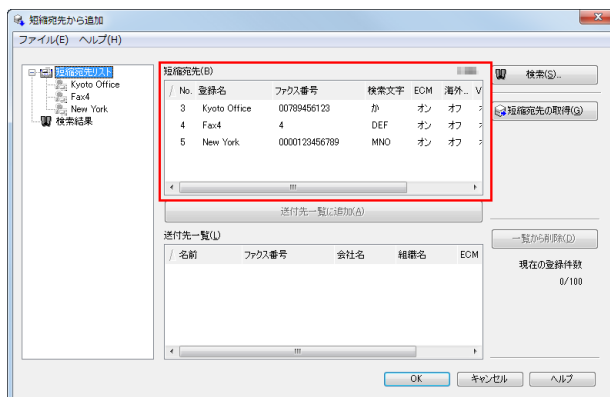
- 4 [OK] をクリックします。
[FAX 送信ポップアップ] 画面に戻ります。

4.2.4 送信先を本機の短縮宛先から選ぶ

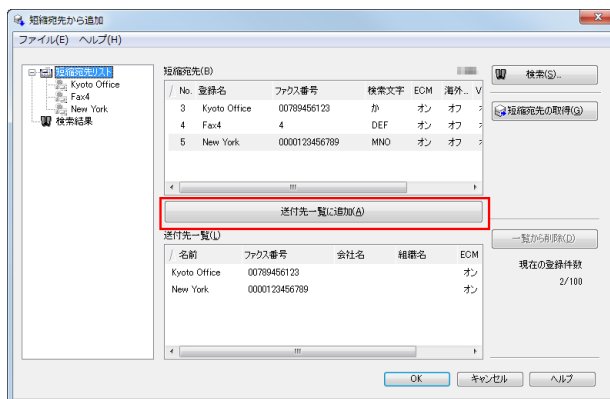
PC-FAX の送信先を、本機に登録されている宛先から選べます。

- ✓ 本機とコンピューターが通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
- ✓ 送信先を短縮宛先から指定する場合は、あらかじめ短縮宛先の登録が必要です。登録のしかたについて詳しくは、「ユーザズガイド [ファクス機能] / [宛先の管理]」をごらんください。

- 1 [FAX 送信ポップアップ] 画面で [短縮宛先から追加 ...] をクリックします。
- 2 左側のリストから [短縮宛先リスト] を選び、目的の送信先を [短縮宛先] 一覧に表示させます。
 - [短縮宛先の取得] をクリックすると、本機と通信し、短縮宛先の情報を取得します。
 - [検索 ...] をクリックすると、条件を指定して検索できます。検索結果が、[短縮宛先] 一覧に表示されます。



- 3 [短縮宛先] 一覧から送信先を選び、[送信先一覧に追加] をクリックします。
 - 送信先は 100 件まで登録できます。
 - 追加した送信先を削除したいときは、取消す送信先を選んでから、[一覧から削除] をクリックします。



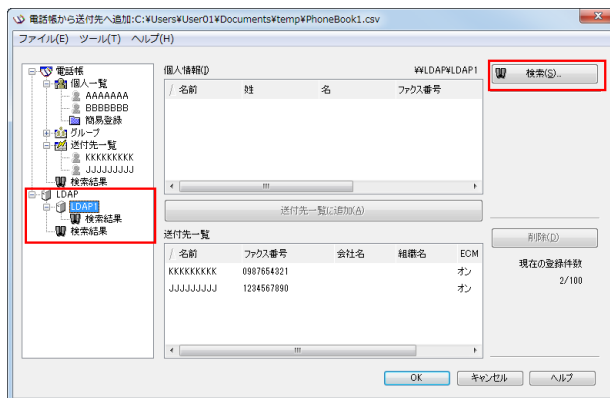
- 4 [OK] をクリックします。
[FAX 送信ポップアップ] 画面に戻ります。

4.2.5 送信先を LDAP サーバーから検索する

LDAP サーバーや Windows Server の Active Directory をお使いの場合は、サーバーから送信先を検索して選べます。

- ✓ 送信先を LDAP サーバーから検索する場合は、あらかじめサーバーの登録が必要です。登録のしかたについて詳しくは、6-8 ページをごらんください。

- 1 [FAX 送信ポップアップ] 画面で [電話帳から追加 ...] をクリックします。
- 2 左側のリストから、検索する LDAP サーバーを選び、[検索] をクリックします。

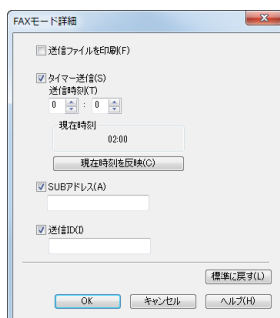


- 3 [簡易] タブまたは [詳細] タブで検索条件を指定し、[開始] をクリックします。
 - [簡易] 検索は、検索条件の 1 つでも合致する宛先を表示します。各検索項目に検索する文字を入力し、[開始] をクリックします。
 - [詳細] 検索は、複数の検索条件がすべて合致する宛先を表示します。[検索項目] と [条件] を選んでから、検索する文字を入力し、[条件へ追加] をクリックします。必要に応じて、複数の検索条件を指定し、[開始] をクリックします。

検索結果が表示されます。
- 4 検索結果から送信先を選び、送付先一覧に追加します。

4.2.6 ファクスの送信機能を設定する

[FAX 送信ポップアップ] 画面で [FAX モード設定詳細 ...] をクリックすると、ファクスの送信機能を設定できます。



設定	説明
[送信ファイルを印刷]	ファクスを送信すると同時に印刷する場合は、チェックをつけます。 [印刷設定] 画面の [FAX] タブでも設定できます。
[タイマー送信]	ファクス送信を開始する時刻を指定する場合は、チェックをつけます。指定した時刻に自動的に送信が開始されます。 ・ [現在時刻を反映]：コンピューターの現在の時刻が [送信時刻] に反映されます。 [印刷設定] 画面の [FAX] タブでも設定できます。
[SUB アドレス]	Fコード送信機能を使う場合はチェックをつけて、送信先のボックスのボックス番号を入力します (半角数字 20 桁以内)。 [印刷設定] 画面の [FAX] タブでも設定できます。
[送信 ID]	Fコード送信機能を使う場合はチェックをつけて、送信先のボックスのパスワードを入力します (半角数字 20 桁以内、記号は #、*)。 [印刷設定] 画面の [FAX] タブでも設定できます。

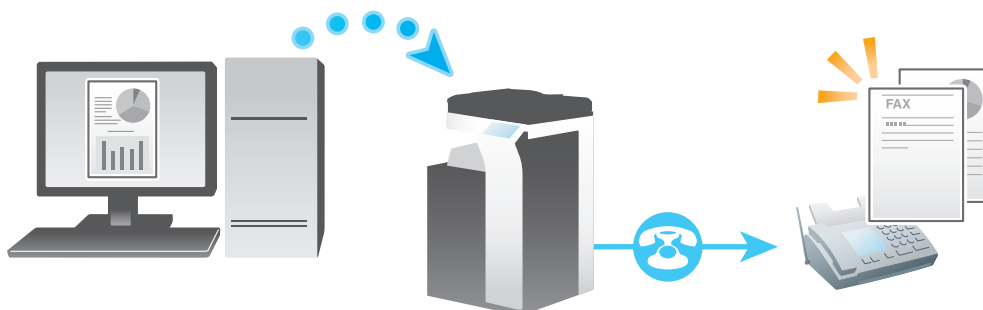
参考

- タイマー送信を行うときは、コンピューターの時刻と本機の時刻が一致していることを確認してください。本機の時刻が、指定された送信時刻を過ぎていた場合、翌日に送信されます。

4.2.7 送付状をつける

[FAX 送信ポップアップ] 画面で [FAX カバーシート] にチェックをつけると、送信するファクスに送付状を付加できます。

[設定 ...] をクリックすると、送付状の内容を変更できます。変更のしかたについては、5-2 ページをごらんください。



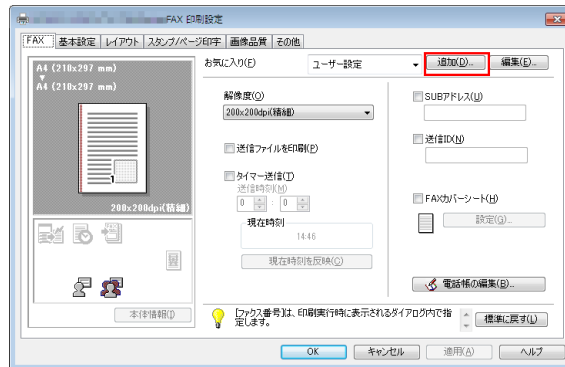
4.3 よく使う設定を簡単に呼出す

現在の印刷設定をお気に入りとして登録し、送信するときその設定を呼出せます。

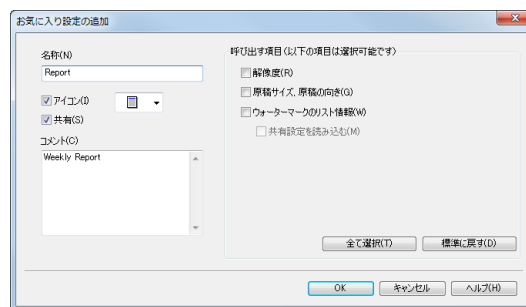
よく使う印刷設定をお気に入りとして登録しておけば、複数のタブにまたがった複雑な設定でも、お気に入り一覧から選ぶだけで簡単に一括設定できます。

ここではお気に入りの登録のしかたを説明します。

- 1 「印刷設定」画面で、お気に入りとして登録したい印刷条件を設定します。
- 2 「追加 ...」をクリックします。
 - 登録済みのお気に入りを編集する場合は、「お気に入り」から編集するお気に入りの名前を選び、「編集」をクリックします。



- 3 登録するお気に入りの名前を入力します。
 - 必要に応じて、お気に入りに対してアイコン、コメント、呼出す項目などを指定します。



設定	説明
[名称]	登録するお気に入りの名前を入力します。 呼出すときに、わかりやすい名前をつけます。
[アイコン]	必要に応じて、登録するお気に入りのアイコンを割り当てます。
[共有]	登録するお気に入りをほかのユーザーと共有するときはチェックをつけます。
[コメント]	必要に応じて、登録するお気に入りに対するコメントを入力します。 入力したコメントは、お気に入りの一覧から選ぶときにオンマウスすると表示されます。
[呼び出す項目]	お気に入りには原稿サイズのような送信するときに決まる項目も登録されます。お気に入りを呼出すとき、初期設定ではこれらの項目は呼出し対象に含まれませんが、必要に応じて、呼出し対象に含めることができます。 呼出し対象に含める項目にチェックをつけます。

- 4 「OK」をクリックします。

印刷設定がお気に入りに登録されます。登録した設定は、送信するとき「お気に入り」から選べます。

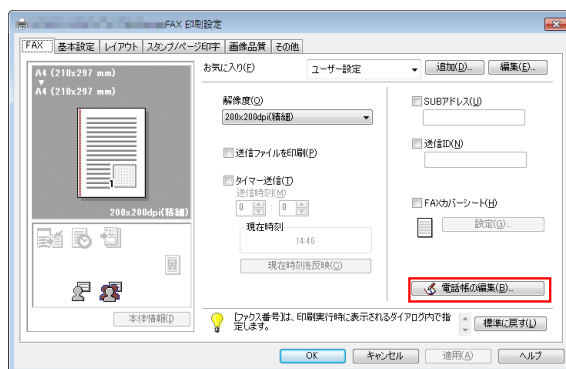
4.4 送信先情報をコンピューターで管理する（電話帳）

送信先を登録する

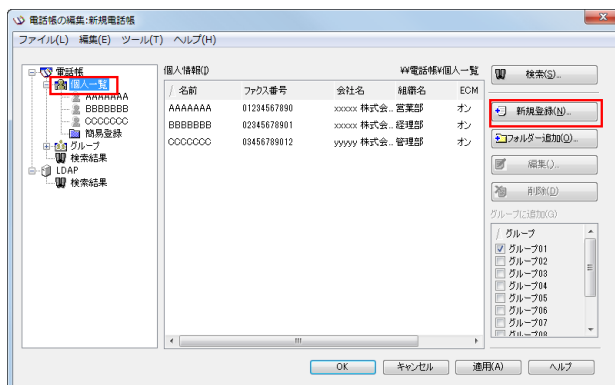
よく利用する送信先を電話帳に登録しておけば、送信時に呼出して利用できます。電話帳はファクスドライバーの [FAX] タブで登録します。

はじめて電話帳を利用する場合は、電話帳ファイルを新しく作成します。電話帳の利用が2回目以降の場合は、前回利用していた電話帳ファイルが開きます。電話帳の登録内容を変更すると、変更内容が電話帳ファイルに上書きされます。

- 1 [FAX] タブで [電話帳の編集 ...] をクリックします。



- 2 左側のリストから [個人一覧] を選び、[新規登録...] をクリックします。



3 送信先の情報を入力します。

設定	説明
[名前]	送信先の名前を入力します(80文字以内)。 送付状に送信先の名前を記載するときに、敬称をつけたい場合は敬称をつけて入力してください。
[ファクス番号]	送信先のファクス番号を入力します(半角数字38桁以内、記号はハイフン(-)、#、*、P、T)。 海外に送信する場合は、国番号を入力してからファクス番号を入力してください。
[会社名]	必要に応じて、送信先の会社名を入力します(80文字以内)。
[組織名]	必要に応じて、送信先の所属組織名を入力します(80文字以内)。
[ECM]	ECM(Error Correction Mode)を解除する場合はチェックをはずします。 ECMは、ITU-T(国際電気通信連合)で定められた誤り再送方式です。ECMに対応したファクス機の間では、送ったファクスのデータに誤りがないことを確認しながら通信が行われるため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。 本機は、初期設定ではECMを使った通信が行われます。雑音が多い場合はECMを使わない場合と比べ、通信時間が若干長くなることがあります。 通信時間を短縮したい場合は、ECMを解除して送信します。ただし、画像の乱れや通信エラーの原因となる場合がありますので、状況に応じて設定を変更してください。
[海外通信モード]	[海外通信モード]を設定する場合はチェックをつけます。 海外通信モードは、伝送速度(情報を送る速さ)をゆっくりとしたスピードに設定して送信する機能です。通信状態の悪い地域にファクスを送る場合などに有効です。
[V.34]	[V.34]モードを解除する場合はチェックをはずします。 V.34は、スーパーG3のファクス通信に使われる通信方式です。A4原稿1ページが約3秒の高速で送られるため、通信時間を短縮して、通信コストを削減できます。 本機は、初期設定ではV.34を使った通信を行います。送信先または本機がPBX回線に接続されている場合など、回線の状況によってスーパーG3モードで通信できない場合は、V.34を解除して送信することをおすすめします。
[グループに追加]	送信先をグループに登録する場合は、登録するグループにチェックをつけます。送信先は、複数のグループに登録することもできます。 グループに登録すると、送信先をグループで指定できます(同報送信)。決まったメンバーに送信することがある場合はグループに登録しておく便利です。

4 [OK] をクリックします。

個人情報登録され、[¥ ¥電話帳 ¥個人一覧]に表示されます。グループを指定した場合は、登録したグループの一覧にも表示されます。

5 [OK] をクリックします。

電話帳の編集を終了します。電話帳を新しく作成している場合は、手順6へ進みます。

6 [はい] をクリックします。

7 保存する場所を指定し、ファイル名を入力してから、[保存] をクリックします。

→ [名前を付けて保存]画面は、初めて電話帳に登録した場合に表示されます。2回目以降に電話帳を変更した場合は、[名前を付けて保存]画面は表示されず、自動的に上書きされます。

電話帳がファイル(CSV形式)として保存されます。



参考

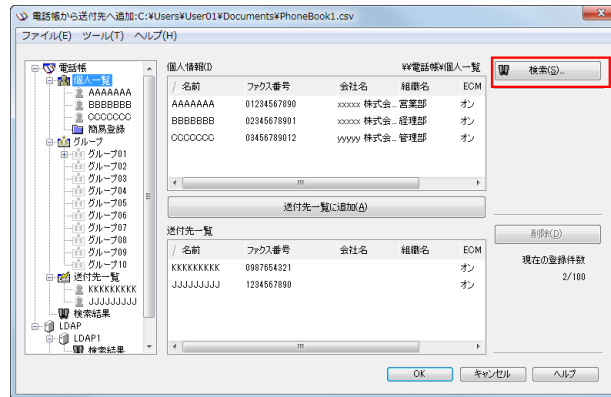
- 保存した電話帳ファイルは、次回、電話帳を開いたときに自動的に表示されます。別の電話帳ファイルを開く場合は、[電話帳の編集]画面の[ファイル]メニューの[開く...]を選びます。複数の電話帳ファイルを保存しておくことで、電話帳を切替えて利用できます。
- 電話帳ファイルは、[電話帳の編集]画面の[ファイル]メニューの[新規]で新しく作成できます。また[ファイル]メニューの[名前を付けて保存...]で別名保存できます。

送信先を検索する

電話帳に登録している送信先一覧から目的の送信先を検索できます。

検索条件は、登録している情報の一部でも、複数の条件を組み合わせても検索できます。

検索は、電話帳から [検索 ...] をクリックして開始します。送信時に開く電話帳でも、送信先を登録するときに開く電話帳でも同じ操作です。



検索方法には、[簡易] 検索と [詳細] 検索があります。

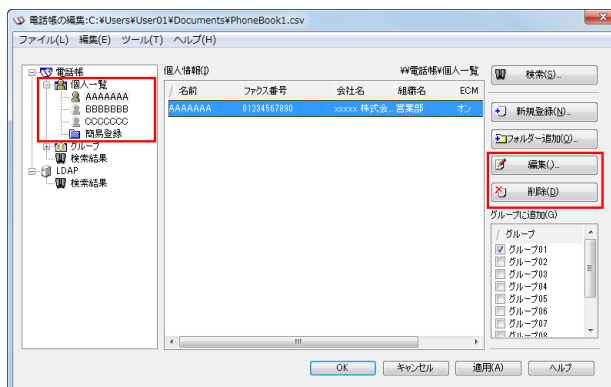
[簡易] 検索は、検索条件の 1 つでも合致する宛先を表示します。各検索項目に検索する文字を入力し、[開始] をクリックします。

[詳細] 検索は、複数の検索条件がすべて合致する宛先を表示します。[検索項目] と [条件] を選んでから、検索する文字を入力し、[条件へ追加] をクリックします。必要に応じて、複数の検索条件を指定し、[開始] をクリックします。

送信先情報を編集する

送信先の登録情報を編集したり、電話帳を編集、整理したりすることで使いやすくなります。電話帳を編集するときは、送信先を登録するときに開く電話帳で操作します。

- 送信先の登録情報を編集するときは、編集したい送信先を [個人一覧] から選び、[編集 ...] をクリックします。
- 送信先を削除するときは、削除したい送信先を [個人一覧] から選び、[削除] をクリックします。このとき、登録されているグループからも削除されます。



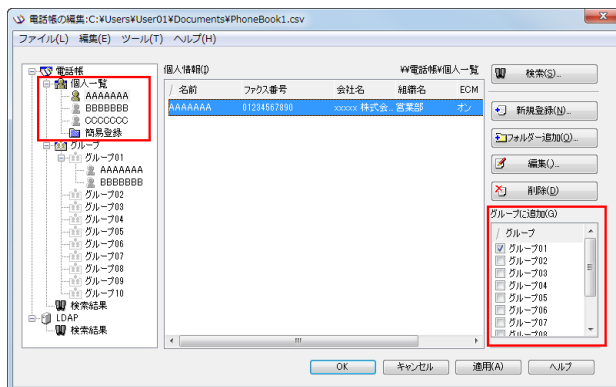
参考

- 送信時に手動で入力した名前/ファクス番号を、[電話帳へ登録] で登録してある場合は、電話帳の [簡易登録] フォルダーに表示されます。

送信先のグループを変更する

グループを変更するときは、送信先を登録するときに開く電話帳で操作します。

〔個人一覧〕から他のグループへ変更したい送信先を選び、右側のグループ一覧のチェックを変更します。



参考

- 〔個人一覧〕から名前をグループにドラッグしても登録できませんが、ドラッグでグループからはずすことはできません。
- グループには 100 件まで登録できます。

グループ名を変更する

電話帳左側の〔グループ〕から、名前を変更したいグループを選び、〔編集〕メニューの〔グループ名の変更...〕をクリックします。表示される画面で名前を変更します。

フォルダーで管理する

フォルダーとグループと合わせて、送信先を複合的に管理します。

〔個人一覧〕を選んでから、〔フォルダー追加...〕をクリックしてフォルダーを作成します。〔編集〕メニューの〔フォルダーの追加...〕を指定しても作成できます。

- 〔個人一覧〕から名前をフォルダーにドラッグするとフォルダーに移動できます。
- フォルダー名を変更するときは、名前を変更したいフォルダーを選び、〔編集...〕をクリックします。
- フォルダーを削除するときは、削除したいフォルダーを選び、〔削除〕をクリックします。

参考

- 送信先を右クリックして〔コピー〕または〔切り取り〕を選び、目的のフォルダー内で〔貼り付け〕をしてもフォルダーへ移動できます。
- フォルダー名は 40 文字まで入力できます。
- フォルダーは 3 階層まで作成できます。

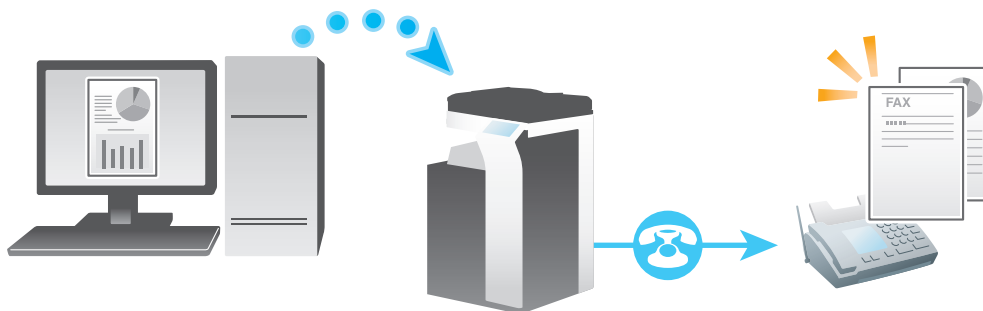
5

こんな送信のしかたがあります

5 こんな送信のしかたがあります

5.1 送付状をつけて送信する

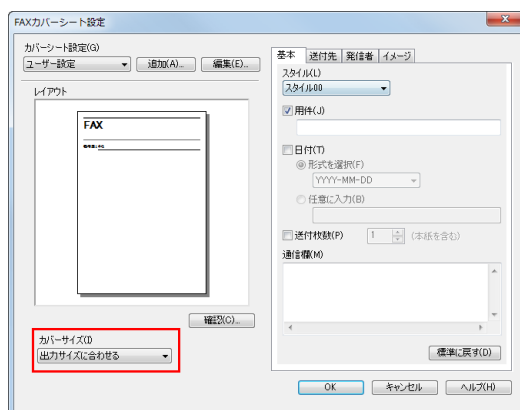
[FAX 送信ポップアップ] 画面で [FAX カバーシート] にチェックをつけると、ファクスに送付状を付加できます。



参考

- カバーシートの内容は [設定 ...] をクリックして表示される [FAX カバーシート設定] 画面で編集できます。また、ファクスドライバーの [FAX] タブでも設定できます。

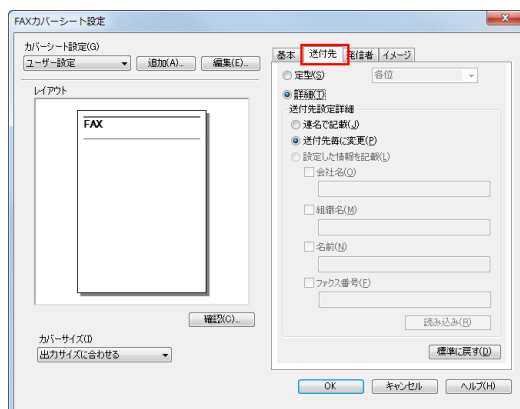
- [FAX 送信ポップアップ] 画面で [FAX カバーシート] にチェックをつけます。
- [設定 ...] をクリックします。
[FAX カバーシート設定] 画面が表示されます。
- [カバーサイズ] で送付状のサイズを選びます。



4 [基本] タブで、送付状のスタイルや用件などを指定します。

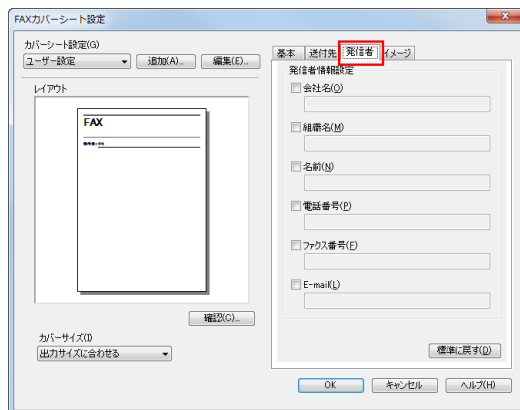
設定	説明
[スタイル]	送付状のスタイルを選びます。
[用件]	送付状に用件を記載する場合はチェックをつけ、用件を入力します (64 文字以内)。
[日付]	送付状に日付を記載する場合はチェックをつけ、記載方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [形式を選択]：日付の書式を選びます。 ・ [任意に入力]：記載する日付を入力します (20 文字以内)。
[送付枚数]	送付状に、送信するファクスの枚数を記載する場合はチェックをつけ、送付状を含めた枚数を指定します。
[通信欄]	送信先への連絡事項がある場合は、連絡事項を入力します (640 文字以内、改行は 2 文字分に換算)。

5 [送付先] タブで、送信先の記載方法を [定型] または [詳細] から選びます。



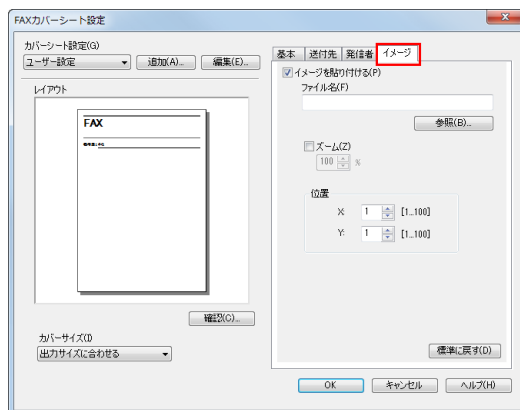
設定	説明
[定型]	送信先を特定しない定型文を送付状に記載する場合は、定型の文字を選びます。
[詳細]	送信先の情報を送付状に記載する場合は、記載方法を指定します。 送信先に敬称を付加したい場合は、[FAX 送信ポップアップ] 画面で送信先の名前を指定するときに、敬称を付けてください。
[連名で記載]	[FAX 送信ポップアップ] 画面の [送付先一覧] に追加された送信先を連名で記載します。
[送付先毎に変更]	送信先ごとに、記載する情報を変更します。[FAX 送信ポップアップ] 画面の [送付先一覧] の内容を記載します。 100 件まで個別に送付状を作成できます。
[設定した情報を記載]	[会社名]、[組織名]、[名前]、[ファクス番号] に入力した内容を記載します (各項目 80 文字以内)。 [FAX 送信ポップアップ] 画面の [送付先一覧] に送信先が追加されている場合に選べます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [読み込み] をクリックすると、[FAX 送信ポップアップ] 画面の [送付先一覧] の 1 列目の情報が反映されます。

6 [発信者] タブで、発信者の情報を入力します（各項目 80 文字以内）。



7 画像を追加したい場合は、[イメージ] タブで画像ファイルを指定します。

- 会社のロゴマークや地図などの画像を送付状に配置できます。指定できるファイル形式は BMP です。
- [ズーム] で画像の倍率を指定します。
- [X:] [Y:] で画像を追加する位置を指定します。



8 送付状の内容を確認します。

- [確認 ...] をクリックすると、レイアウトイメージを拡大して確認できます。
- [追加 ...] をクリックすると、設定を保存して、次から [カバーシート設定] で呼出せます。

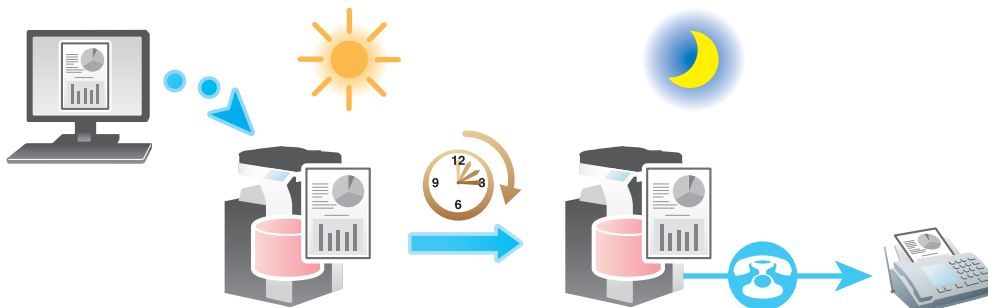
9 [OK] をクリックします。

5.2 時刻を指定して送信する(タイマー送信)

タイマー送信について

タイマー送信は、送信を開始する時刻を設定しておくこと、指定した時刻に自動的に送信を開始する機能です。

タイマー送信機能で、早朝や深夜などの電話料金割引時間帯を利用してファクスの送信を予約しておくこと、通信コストの削減に役立ちます。タイマー送信機能によるファクスの送信は20件まで予約できます。

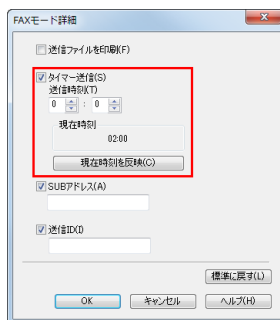


参考

- タイマー送信を行うときは、コンピューターに設定されている時刻と本機に設定されている時刻が一致していることを確認してください。本機の現在時刻よりも送信時刻が前に設定されている場合は、翌日になってから送信されます。

送信のしかた

- [FAX 送信ポップアップ] 画面で [FAX モード設定詳細 ...] をクリックします。
[FAX モード詳細] 画面が表示されます。
- [タイマー送信] にチェックをつけ、[送信時刻] を設定します。
→ [現在時刻を反映] をクリックすると、コンピューターに設定されている現在時刻が [送信時刻] に反映されます。



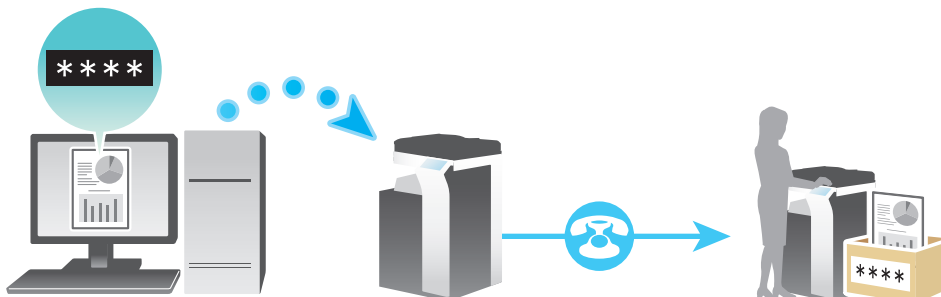
- [OK] をクリックします。

5.3 親展のファクスを送信する（親展通信）

親展通信について

親展通信は、登録番号やパスワードが必要なボックス（親展ボックス）を使って、特定の相手とだけ通信する機能です。

セキュリティを強化したファクス通信ができます。

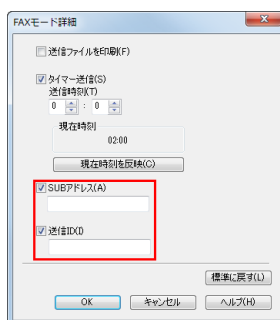


参考

- 送信先の装置に F コード機能が備わっている必要があります。
- 親展送信する場合、あらかじめ送信先の親展ボックスのボックス番号と、親展受信用の通信パスワードの確認が必要です。

送信のしかた

- 1 [FAX 送信ポップアップ] 画面で [FAX モード設定詳細 ...] をクリックします。
[FAX モード詳細] 画面が表示されます。
- 2 送信先の親展ボックスを指定します。
 - [SUB アドレス]：送信先の親展ボックスのボックス番号を入力します。
 - [送信 ID]：送信先の親展ボックスの通信パスワードを入力します。



- 3 [OK] をクリックします。

5.4 中継機を指定して送信する（中継配信）

中継配信について

中継配信は、1 通のファクスを中継機に送信すると、受信した中継機が、あらかじめ登録した宛先に受信したファクスを配信する機能です。

中継機と配信先を地域別にグループ化して準備しておけば、すべての宛先に同報送信するよりも全体の通信費を抑えられます。遠距離へ同報送信したい場合などに有効です。

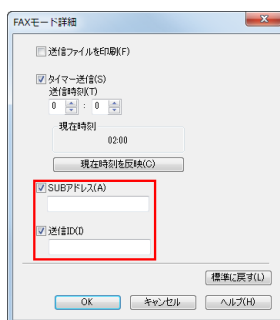


参考

- 送信先の装置（中継機）に F コード機能が備わっている必要があります。
- 中継配信する場合、あらかじめ中継機に設定された中継用のボックス（中継ボックス）のボックス番号とパスワードの確認が必要です。

送信のしかた

- 1 [FAX 送信ポップアップ] 画面で [FAX モード設定詳細 ...] をクリックします。
[FAX モード詳細] 画面が表示されます。
- 2 送信先の中継ボックスを指定します。
 - [SUB アドレス]：送信先の中継ボックスのボックス番号を入力します。
 - [送信 ID]：送信先の中継ボックスの中継パスワードを入力します。



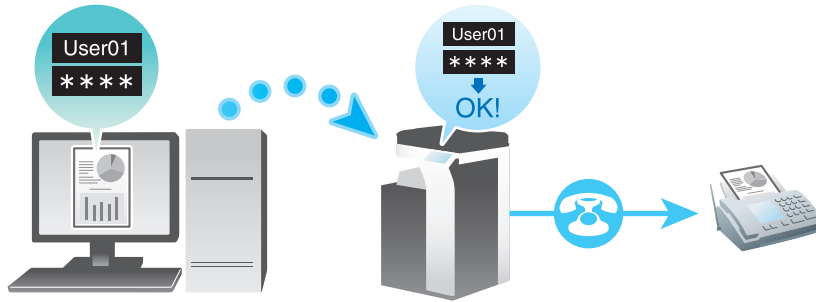
- 3 [OK] をクリックします。

5.5 認証情報をつけて送信する

認証設定時の送信について

ユーザー認証や部門管理を導入している環境で PC-FAX を送信する場合は、送信するときに認証情報（ユーザー名とパスワード）を本機へ送る必要があります。これにより、本機を経由して PC-FAX を送信できるユーザーを限定し、第三者の不正利用を防ぎます。

本機の使用が許可されていないユーザーからの送信ジョブや、認証情報のない送信ジョブを本機が受信すると、自動的に破棄します。



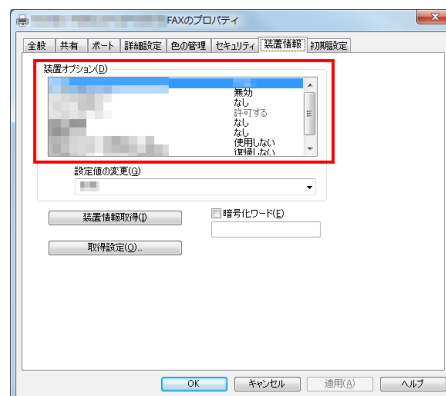
参考

- 認証情報のない送信ジョブとは、ファクスドライバーの「プロパティ」画面の「装置情報」タブで、ユーザー認証／部門管理が正しく設定されていない状態で送られたジョブのことです。

お使いになるために必要な作業

ファクスドライバーの「装置情報」タブで、ユーザー認証／部門管理が正しく設定されていることを確認します。

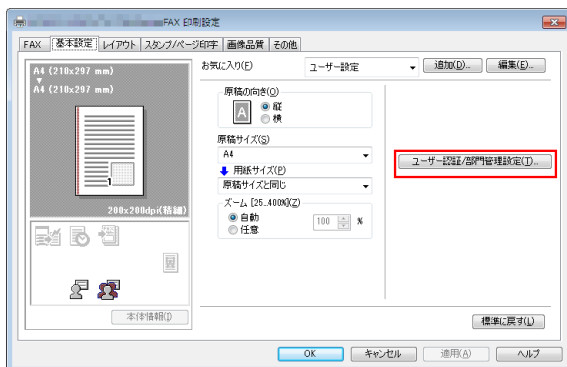
- 1 ファクスドライバーの「プロパティ」画面を表示します。
→ 「プロパティ」画面の表示のしかたについては、6-2 ページをごらんください。
- 2 「装置情報」タブの「装置オプション」で、お使いの環境に合わせて、ユーザー認証／部門管理が正しく設定されていることを確認します。
→ 正しく設定されていない場合は、一覧から「ユーザー認証」または「部門管理」を選び、「設定値の変更」からそれぞれの設定値を変更します。



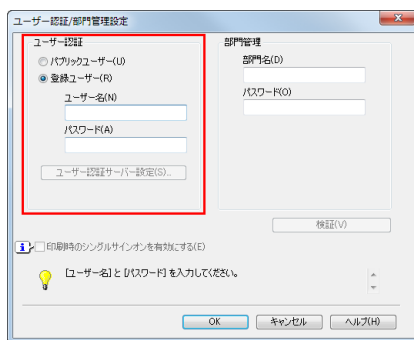
- 3 [OK] をクリックします。

送信のしかた

- 1 [基本設定] タブの [ユーザー認証 / 部門管理設定 ...] をクリックします。

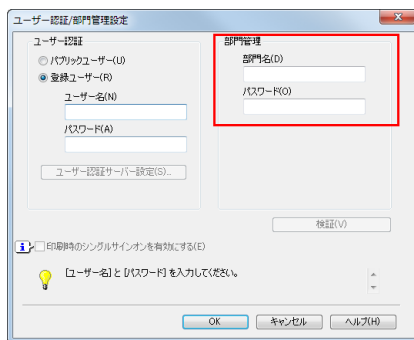


- 2 ユーザー認証を行っている場合は、[登録ユーザー] を選び、ユーザー名とパスワードを入力します。
 - 本機でパブリックユーザー（登録されていないユーザー）が許可されている場合は、[パブリックユーザー] を選ぶことで、ユーザー名とパスワードを入力せずに送信できます。
 - 外部の認証サーバーをお使いの場合は、[ユーザー認証サーバー設定 ...] をクリックし、認証サーバーを選んでください。



- 常に同じユーザー名とパスワードで印刷する場合は、あらかじめ登録しておく、入力する手間が省けます。詳しくは、2-9 ページをごらんください。

- 3 部門管理を行っている場合は、部門名とパスワードを入力します。

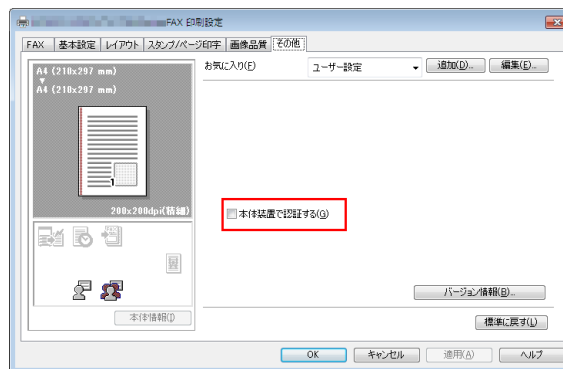


- 常に同じ部門名とパスワードで送信する場合は、あらかじめ登録しておく、入力する手間が省けます。詳しくは、2-9 ページをごらんください。

- 4 [OK] をクリックします。

- 本機と通信可能な場合は、[検証] をクリックすると、入力した認証情報で認証を実施し、印刷前に認証情報に誤りがないかを確認できます。

- 5 本体装置での認証と外部の認証サーバーでの認証を併用している場合に本体装置で認証を行うときは、[その他] タブで [本体装置で認証する] にチェックをつけます。



- 6 送信を実行します。
認証情報が正しい場合は送信されます。

6

ファクスドライバーの設定項目

6 ファクスドライバーの設定項目

6.1 ファクスドライバーの [プロパティ] 画面について

[プロパティ] 画面の表示のしかた

ファクスドライバーには、[プロパティ] 画面と [印刷設定] 画面の 2 つの設定画面があります。ここでは、[プロパティ] 画面の説明をします。

[プロパティ] 画面では、本機のオプション環境の設定や、Windows の機能に関する設定ができます。

[プロパティ] 画面は、次の手順で表示します。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

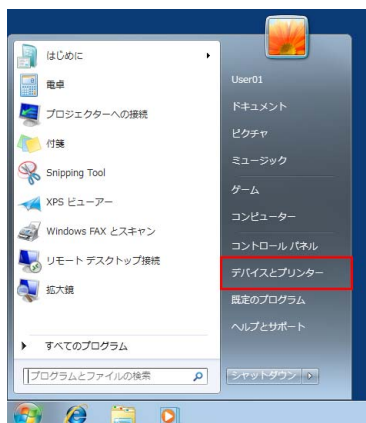
- Windows 8/8.1/10 の場合は、[Windows] (■) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



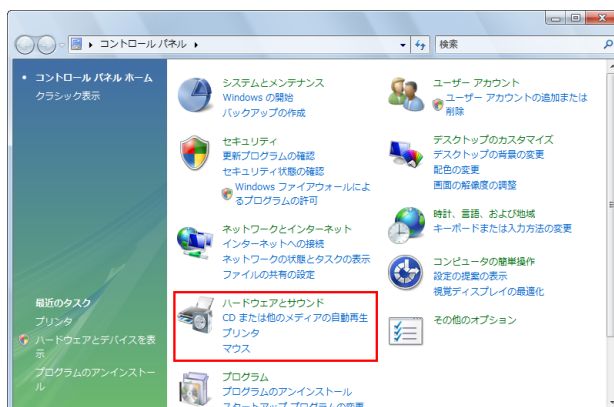
- Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[Windows] (■) キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
デバイスとプリンターが表示されていない場合は、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

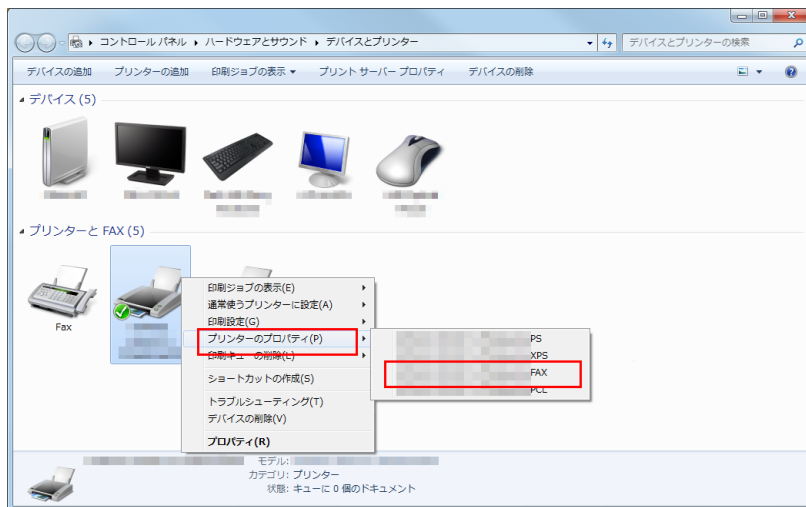


- Windows Vista/Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。
[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。

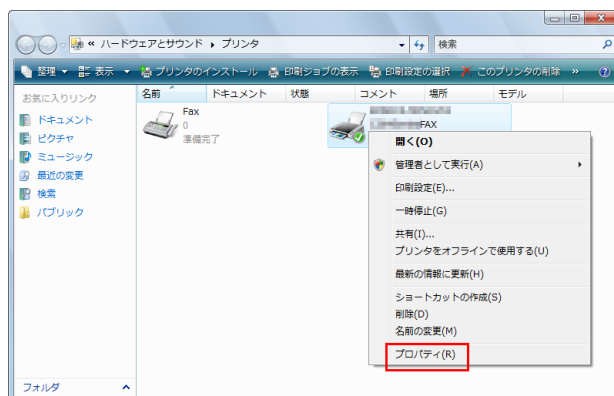


2 プリンターのプロパティを開きます。

→ Windows 7/8/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] から、表示されるプリンター名をクリックします。



→ Windows Vista/Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックします。



[プロパティ] 画面が表示されます。

Windows が提供するタブについて

[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ] は、Windows が提供するタブです。

テストページの印刷、プリンターの共有設定、プリンターのポート設定などが行えます。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

6.2 [装置情報] タブでできること

[装置情報] タブでは、本機のオプション装着状態や、本機の情報を取得する方法などをファクスドライバーに登録できます。

設定	説明
[装置オプション]	本機の機種名、オプションの装着状態、認証設定を表示します。 本機の設定を取得できない場合は、手動で設定値を変更する必要があります。変更する項目を一覧から選び、[設定値の変更] から設定値を選びます。
[装置情報取得]	本機と通信してオプションの装着状態を取得します。 [取得設定 ...] で、本機情報の取得方法を設定します。
[取得設定 ...]	本機情報を取得するための設定をします。
[自動取得]	本機情報を常に自動で取得する場合にチェックをつけます。
[取得先設定]	本機から情報を取得するときの通信設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [印刷するポートに接続される装置]：ファクスドライバーの [ポート] タブで設定している印刷ポートから情報を取得します。 ・ [IP アドレスまたはプリンター名を指定]：入力した IP アドレスまたはプリンター名の装置に接続して情報を取得します。
[Read Community Name]	本機側で SNMP Read Community Name を変更した場合は、本機から情報を取得するときを使う Read Community Name を入力します。
[装置情報取得用パスワード]	本機側でファクスドライバーからの情報の取得をパスワードで制限している場合は、認証用のパスワードを入力します。
[暗号化ワード]	暗号化ワードを独自に設定する場合にチェックをつけます。 暗号化ワードは、送信するときに本機へ送る認証パスワードを暗号化するために使います。通常は、本機にあらかじめ登録されている暗号化ワードを使って暗号化しますが、必要に応じて、暗号化ワードを変更できます。 暗号化ワードを変更する場合は、まず本機の設定を変更し、ファクスドライバーには本機で設定した暗号化ワードと同じ暗号化ワードを入力します。暗号化ワードの変更のしかたについては詳しくは、「ユーザズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。

参考

- [取得設定 ...] の [自動取得] が有効の場合に、本機と通信できないときは、[プロパティ] 画面や [印刷設定] 画面を表示するときに時間がかかります。

関連設定 (管理者向け)

- ファクスドライバーからの装置情報の取得をパスワードで制限できます (初期値: [しない])。詳しくは、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

6.3 [初期設定] タブでできること

[初期設定] タブでは、確認メッセージや認証情報の入力画面の表示のしかたなどの初期設定を変更できません。

設定	説明
[禁則発生時に確認メッセージを表示する]	ファクスドライバーで同時に使えない機能を設定したときにメッセージを表示する場合は、チェックをつけます。
[サーバープロパティ用紙を使用する]	プリンターの画面の [サーバーのプロパティ] で追加した用紙を使う場合は、チェックをつけます。
[ファクス番号を直接入力する際に再確認をする]	[FAX 送信ポップアップ] 画面で [ファクス番号] を直接入力して [送付先一覧に追加] をクリックしたときに、確認のためファクス番号を再入力する画面を表示する場合は、チェックをつけます。ファクスの誤送信を防ぐために便利な機能です。
[認証設定 ...]	ユーザー認証／部門管理に関する設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [印刷前に認証設定を検証する]：[ユーザー認証 / 部門管理設定] ダイアログボックスの [検証] ボタンを有効にする場合は、チェックをつけます。 ・ [印刷時に認証設定の入力画面を表示する]：印刷するときに [ユーザー認証 / 部門管理設定] ダイアログボックスを表示する場合は、チェックをつけます。ユーザー名やパスワードの入力忘れを防ぎます。 ・ [[ユーザー名] の変更を許可しない]：[基本設定] タブの [ユーザー認証 / 部門管理設定] ダイアログで [登録ユーザー] の [ユーザー名] の変更を禁止します。 ・ [[パスワード] の変更を許可しない]：[基本設定] タブの [ユーザー認証 / 部門管理設定] ダイアログで [登録ユーザー] の [パスワード] の変更を禁止します。
[Wake-On-Lan 設定 ...]	Wake-On-Lan 機能に関する設定をします。Wake-On-Lan 機能を使うには、あらかじめ本機で [ErP からの復帰] の設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [省電力モードから印刷前に復帰する]：本機が ErP オートパワー OFF 状態のときに、印刷ジョブを送信する前に通常モードに復帰させる場合は、チェックをつけます。 ・ [MAC アドレス]：Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [拡張ネットワーク設定] - [デバイス設定] で表示される MAC アドレスを入力します。
[不定形サイズの登録 ...]	特殊なサイズの原稿を送信することがある場合は、サイズを指定して用紙を登録します。登録した原稿サイズは、[基本設定] タブの [原稿サイズ] と [用紙サイズ] で選べるようになります。
[LDAP サーバー登録 ...]	LDAP サーバーや Windows Server の Active Directory をお使いの場合に、送信先を検索するサーバーを登録します。登録したサーバーは、電話帳に表示されます。登録のしかたについて詳しくは、6-8 ページをごらんください。



参考

- ・ [サーバーのプロパティ] の開きかたは、以下のとおりです。
Windows 7/8/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、プリンターを選び、ツールバーの [プリント サーバー プロパティ] をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 の場合は、[プリンタ] ウィンドウの何も無い部分を右クリックし、[管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] をクリックします。

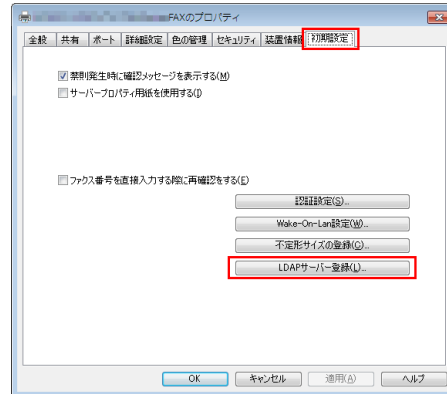
- ファクスドライバーで使用できるサーバープロパティ用紙は、以下の範囲です。
ファクスドライバーで設定できる不定形サイズの範囲：
幅：90.0 ～ 320.0 mm、長さ：139.7 ～ 457.2 mm
ファクスドライバーで設定できる長尺紙サイズの範囲：
幅：210.0 ～ 297.0 mm、長さ：457.3 ～ 1200.0 mm
大判用紙サイズの設定範囲 1：
幅：90.0 ～ 209.0 mm、長さ：457.3 ～ 1189.0 mm
大判用紙サイズの設定範囲 2：
幅：297.1 ～ 320.0 mm、長さ：457.3 ～ 1189.0 mm
大判用紙サイズの設定範囲 3：
幅：320.1 ～ 841.0 mm、長さ：139.7 ～ 1189.0 mm
上記の不定形サイズや長尺紙サイズの範囲で登録した用紙は、ファクスドライバーの [原稿サイズ]、
[用紙サイズ] の両方で選択できますが、大判用紙サイズの範囲で登録した用紙サイズは、ファクス
ドライバーの [原稿サイズ] でのみ選択できます。

6.4 ファクスドライバーにLDAPサーバーを登録する

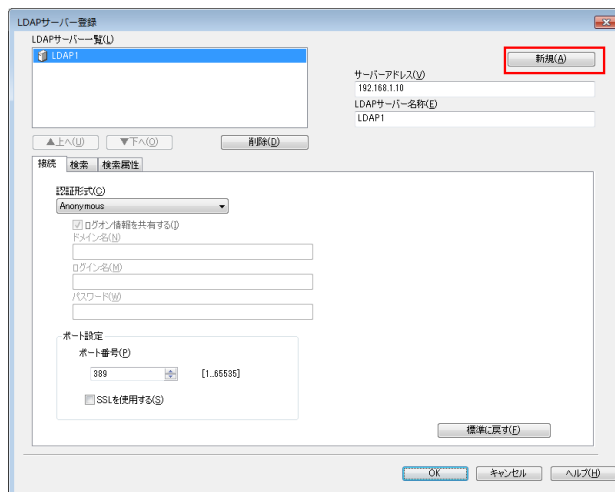
LDAPサーバーやWindows ServerのActive Directoryをお使いの場合は、ファクスドライバーにサーバーを登録することで、サーバーから送信先を検索して選べます。

ここでは、ファクスドライバーにサーバーを登録する手順を説明します。

- 1 ファクスドライバーの「プロパティ」画面を表示します。
→ 「プロパティ」画面の表示のしかたについては、6-2ページをごらんください。
- 2 「初期設定」タブの「LDAPサーバー登録...」をクリックします。



3 [新規] をクリックしてLDAPサーバーの情報を登録し、[OK] をクリックします。



設定	説明
[LDAP サーバー一覧]	登録済みのLDAPサーバーの一覧を表示します。 ・ [上へ] / [下へ] : 選んだLDAPサーバーの表示位置を移動します。 ・ [削除] : 選んだLDAPサーバーを削除します。
[サーバーアドレス]	LDAPサーバーのアドレスを入力します。
[LDAP サーバー名称]	[LDAP サーバー一覧] に表示するLDAPサーバーの名前を入力します。 サーバーを選ぶときにわかりやすい名前をつけます。
[接続] タブ	LDAPサーバーへ接続するときの認証形式やポートの設定をします。
[認証形式]	LDAPサーバーへログインするときの、認証形式を選びます。 お使いのLDAPサーバーで採用している認証形式に合わせて選びます。 [Anonymous] 以外を選んだ場合は、認証情報を入力します。
[ポート設定]	必要に応じて、LDAPサーバーのポート番号を変更します。 通常は、そのままお使いいただけます。 SSLで通信するときは、[SSLを使用する] にチェックをつけます。
[検索] タブ	LDAP検索するときの検索ベースや、通信のタイムアウト時間などを設定します。
[タイムアウト時間 (秒)]	必要に応じて、LDAPサーバーとの通信のタイムアウト時間を変更します。
[検索最大表示件数]	必要に応じて、検索結果として表示する宛先の最大数を変更します。
[検索ベース]	宛先を検索するときの、検索の起点を指定します。
[検索属性] タブ	LDAP検索するとき、名称、姓、名、ファクス番号、E-mail、会社名、組織名の各項目に対応する属性を入力します。

参照

LDAPサーバーを使った宛先検索のしかたについて詳しくは、4-8ページをごらんください。


6.5 ファクスドライバーの [印刷設定] 画面について

[印刷設定] 画面の表示のしかた


ファクスドライバーには、[プロパティ] 画面と [印刷設定] 画面の 2 つの設定画面があります。ここでは、[印刷設定] 画面の説明をします。

[印刷設定] 画面は、機能のまとまりごとに複数のタブで構成され、本機固有の印刷機能を設定できます。[印刷設定] 画面は、次の手順で表示します。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

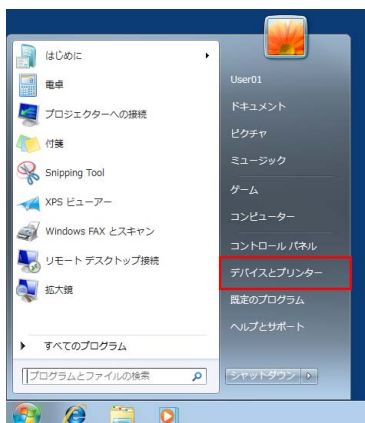
- Windows 8/8.1/10 の場合は、[Windows] () キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



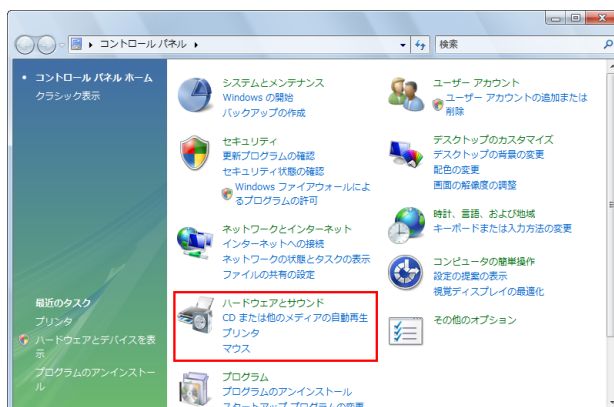
- Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[Windows] () キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。



- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
[デバイスとプリンター] が表示されていない場合は、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

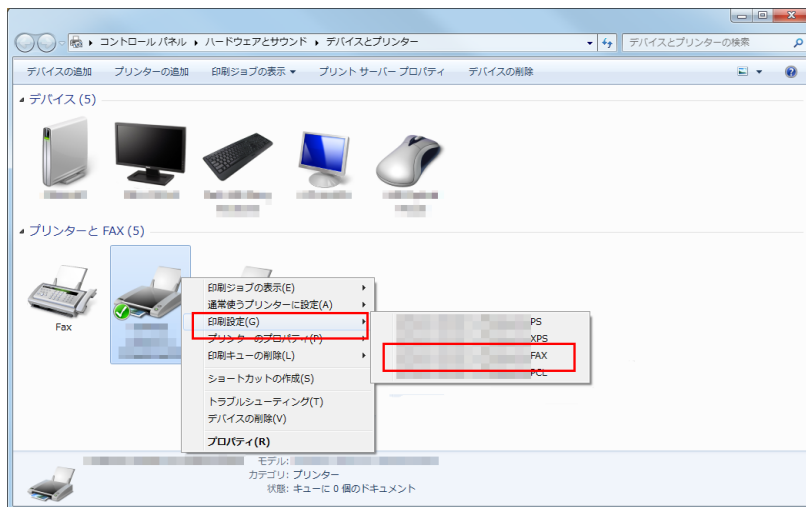


- Windows Vista/Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。
[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。

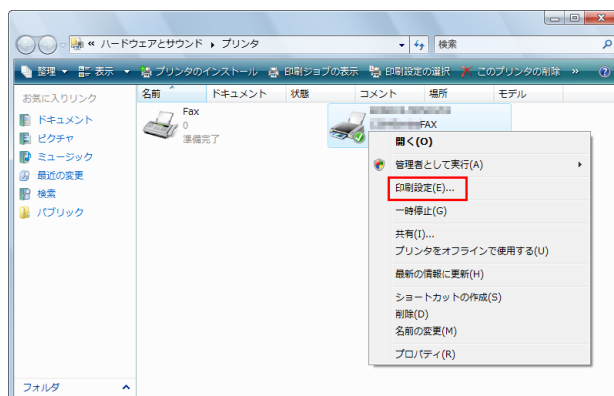


2 [印刷設定] を開きます。

→ Windows 7/8/8.1/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして [印刷設定] から、表示されるプリンター名をクリックします。



→ Windows Vista/Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして [印刷設定...] をクリックします。



[印刷設定] 画面が表示されます。

参考

- ここで変更した印刷設定は、初期値として登録されます。アプリケーションソフトウェアから PC-FAX 送信するときに一時的に設定を変更したいときは、[印刷] 画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックして [印刷設定] 画面を開いてください。

各タブで共通の項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。

設定	説明
[お気に入り]	現在の印刷設定をお気に入りとして登録し、送信するときに呼出せます。 [お気に入り] について詳しくは、4-10 ページをごらんください。
ビュー	現在の設定でのページレイアウトのサンプルを表示し、送信結果のイメージを確認できます。
[本体情報]	Web Connection を起動し、本体情報を確認できます。本機と通信可能な状態で有効です。
[OK]	変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
[キャンセル]	変更した設定を無効 (キャンセル) にして、設定画面を閉じます。
[ヘルプ]	画面の各項目についてのヘルプを表示します。
[標準に戻す]	設定内容を初期値の状態に戻します。

6.6 [FAX] タブでできること

[FAX] タブでは、ファクスの送信に関する基本的な設定ができます。

設定	説明
[解像度]	ファクスを送信するときの解像度を選びます。解像度が高いほど情報量が増えるため、通信時間が長くなります。
[送信ファイルを印刷]	ファクスを送信すると同時に印刷する場合にチェックをつけます。 [FAX 送信ポップアップ] 画面の [FAX モード設定詳細 ...] でも設定できます。
[タイマー送信]	ファクス送信を開始する時刻を指定する場合にチェックをつけます。指定した時刻に自動的に送信が開始されます。 ・ [現在時刻を反映]：コンピューターの現在の時刻が [送信時刻] に反映されます。 [FAX 送信ポップアップ] 画面の [FAX モード設定詳細 ...] でも設定できます。
[SUB アドレス]	F コード送信機能を使う場合に、送信先ボックスのボックス番号を指定します (半角数字 20 桁以内)。 [FAX 送信ポップアップ] 画面の [FAX モード設定詳細 ...] でも設定できます。
[送信 ID]	F コード送信機能を使う場合に、送信先ボックスのパスワードを指定します (半角数字 20 桁以内、記号は #、*)。 [FAX 送信ポップアップ] 画面の [FAX モード設定詳細 ...] でも設定できます。
[FAX カバーシート]	送信するファクスに送付状を付加する場合にチェックをつけます。[設定] をクリックすると、送付状の内容を設定できます。 [FAX 送信ポップアップ] 画面の [FAX カバーシート] でも設定できます。
[電話帳の編集 ...]	電話帳を編集します。 詳しくは、4-11 ページをごらんください。

参考

- タイマー送信を行うときは、コンピューターの時刻と本機の時刻が一致していることを確認してください。本機の時刻が、指定された送信時刻を過ぎていた場合、翌日に送信されます。

6.7 [基本設定] タブでできること

[基本設定] タブでは、原稿の向きや用紙サイズの設定ができます。本機でユーザー認証や部門管理を導入している場合は、認証情報を設定します。

設定	説明
[原稿の向き]	アプリケーションソフトウェアで作った原稿の向きを指定します。ファクスドライバーを開いたときに、アプリケーションソフトウェアで設定した内容と異なる場合に合わせてください。
[原稿サイズ]	アプリケーションソフトウェアで作った原稿のサイズを選びます。ファクスドライバーを開いたときに、アプリケーションソフトウェアで設定した内容と異なる場合に合わせてください。不定形サイズの原稿の場合は、[不定形サイズ] を選び、幅と長さを指定します。
[用紙サイズ]	送信するファクスの用紙サイズを選びます。原稿サイズと異なる場合で、[ズーム] が [自動] に設定されているときは、選んだ用紙サイズに合わせて拡大または縮小されます。不定形サイズで送信する場合は、[不定形サイズ] を選び、幅と長さを指定します。
[ズーム]	送信画像の拡大縮小のしかたを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動]：[用紙サイズ] で指定したサイズの用紙に合わせて拡大または縮小します。 ・ [任意]：指定した倍率で拡大または縮小します (25-400%)。
[ユーザー認証 / 部門管理設定 ...]	ユーザー認証や部門管理を導入している場合に、ユーザー名または部門名とパスワードを入力します。詳しくは、5-8 ページをごらんください。

参考

- [用紙サイズ] の [12 × 18] は A3 よりひと回り大きい 304.8 × 457.2mm です。
- [原稿サイズ] で A0、A1、A2、B1、B2、B3 が選べますが、[用紙サイズ] で指定された用紙サイズに合わせて縮小されます。この場合、[用紙サイズ] で [原稿サイズと同じ] は選べません。また、サーバプロパティ用紙に登録した大判用紙サイズも、[用紙サイズ] で指定された用紙サイズに合わせて縮小されます。サーバプロパティ用紙は、[初期設定] タブで [サーバプロパティ用紙を使用する] にチェックをつけた場合に選べます。
- 受信側のファクス機の仕様によっては、送信する原稿サイズの用紙に印刷されず、A4 などの定形サイズの用紙に縮小されることがあります。

6.8 [レイアウト] タブでできること

[レイアウト] タブでは、送信するときのレイアウトに関する設定ができます。

設定	説明
[ページ割付]	<p>送信する原稿の用紙への割付けかたを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [2 in 1] / [4 in 1] / [6 in 1] / [9 in 1] / [16 in 1] : 複数のページを1枚の用紙の同じ面に縮小して送信します。たとえば、[9 in 1] を選ぶと、9ページ分を1枚の用紙の同じ面に縮小して送信します。 • [2 × 2] / [3 × 3] / [4 × 4] : 原稿画像を拡大し、複数の用紙に分割して送信します。たとえば、[2 × 2] であれば、1ページの原稿を4枚の用紙に分割して送信します。つなぎ合わせると、ポスターのように大きく仕上がります。 <p>必要に応じて、[ページ割付詳細 ...] をクリックして、割付けかたの詳細な設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ページ割付] : 割付けかたを選びます。 • [順序] : [ページ割付] で N in 1 を指定したときに、ページ配置の順序を選びます。 • [境界] : [ページ割付] で N in 1 を指定したときに、ページ間の境界線を入れる場合は、チェックをつけます。あわせて、境界線の種類を選びます。 • [のりしろ線] : [ページ割付] で N × N を指定したときに、のりしろを作る場合は、チェックをつけます。
[白紙抑制]	<p>原稿の白紙ページを送信対象から除外するときにチェックをつけます。</p>

6.9 [スタンプ/ページ印字] タブでできること

[スタンプ/ページ印字] タブでは、原稿にウォーターマークを合成するための設定ができます。

設定	説明
[ウォーターマーク]	原稿にウォーターマーク(文字スタンプ)を印字するときにチェックをつけます。あわせて、合成するウォーターマークを一覧から選びます。 [編集...] をクリックすると、ウォーターマークの登録や編集ができます。 詳しくは、「ユーザズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。

6.10 [画像品質] タブでできること

[画像品質] タブでは、送信する原稿のフォントの処理をどのようにするかを設定できます。

設定	説明
[フォント設定]	文字の処理方法を指定します。 コンピューターから本機にダウンロードするフォントのタイプ(ビットマップまたはアウトライン)を選びます。また、送信時に、TrueType をプリンターフォントに置換えるかどうかを指定します。

6.11 [その他] タブでできること

[その他] タブでは、ドライバーのバージョン確認などができます。

設定	説明
[本体装置で認証する]	本体装置認証とサーバー認証を併用してユーザー認証を行っている場合に、本体装置の認証機能を利用してログインするときはチェックをつけます。 [装置情報] タブの [装置オプション] - [ユーザー認証] を [本体装置認証 + 外部サーバー認証] または [本体装置認証 + 拡張サーバー認証] に設定している場合に設定できます。
[バージョン情報]	お使いのファクスドライバーのバージョンを確認します。

7

ファクスドライバーを削除する


7 ファクスドライバーを削除する

削除プログラムで削除する

インストーラーを使ってインストールした場合は、ファクスドライバーの削除機能が組込まれています。

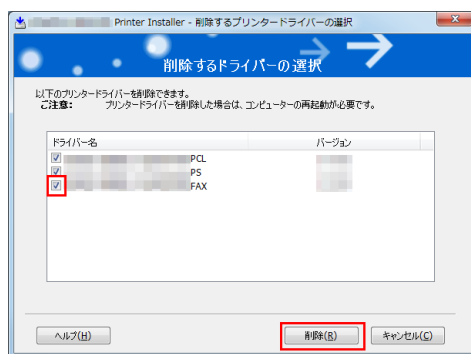
✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 削除プログラムを起動します。

- スタートメニューから [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [MFP-Printer Utility] - [36C-9Series(PS_PCL_FAX)] - [プリンタードライバーの削除] をクリックします。
- Windows 8/8.1/10/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[Windows] () キーを押しながら [X] キーを押し、表示されたメニューから [プログラムと機能] をクリックします。一覧から [Generic 36C-9Series(PS_PCL_FAX)] をダブルクリックします。

2 ファクスドライバーを選び、[削除] をクリックします。

→ 以降は、表示される画面に従って操作してください。



3 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

以上で、ファクスドライバーの削除の完了です。

インストーラーを使って削除する

インストーラーを使ってインストールした場合は、インストーラーを使って削除できます。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- 1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32 ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
- 2 [プリンターのインストール] をクリックします。
プリンタードライバーのインストーラーが起動します。
- 3 使用許諾契約書の画面で [同意します] をクリックします。
- 4 [プリンタードライバーの削除] を選び、[次へ] をクリックします。
- 5 ファクスドライバーを選び、[削除] をクリックします。
 - 以降は、表示される画面に従って操作してください。
- 6 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、コンピューターを再起動します。
以上で、ファクスドライバーの削除の完了です。



参照

手動で削除する方法については、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。

お問い合わせ窓口

■ 製品の仕様・取扱方法やアフターサービスに関するご相談

インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）
平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

■ 消耗品のご注文・お問い合わせ

消耗品受付窓口

0120-176-109

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）
平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

ホームページ <http://www.muratec.jp/ce/>

●この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。